

令和5年度 事業年報

国民健康保険 金ヶ崎 診療 所
国民健康保険 金ヶ崎歯科診療所
金ヶ崎 町 訪問看護ステーション

岩手県金ヶ崎町保健福祉センター

巻 頭 言

金ケ崎診療所長 阿部 俊和

令和5年度の年報発刊に際し、一言申し上げます。

令和5年度は前年度に引き続きコロナ禍で幕を開けましたが、その新型コロナウイルス感染症も5月8日をもって感染症法の2類から5類に移行し、罹患者に対する規制は解除となりました。しかしながら、感染は終息したわけではなく、感染者は依然として発生しており、我々医療従事者は発熱患者様に対し、引き続きコロナ禍同様の感染防御態勢を維持して診療に当たりました。従って、午後の外来診療は制限を伴い、一般の患者様にはご迷惑をおかけいたしました。

午前中の外来診療は、従来通り内科、外科、泌尿器科、歯科の常勤医師による診療と、非常勤医師による週に一度の午前中ないし午後の外来診療（呼吸器内科、循環器内科、神経内科、眼科、整形外科、婦人科）を継続いたしました。当診療所を利用していただいている患者様は高齢な方が多く、なるべく町内で医療が完結するように今後とも現診療体制を維持していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

午後は発熱外来や急患対応、また、大腸内視鏡検査を主体とした諸検査や訪問診療、産業医活動、地域連携と医師のスキル維持目的での診療応援等に充てました。発熱外来患者は徐々に減少しましたが、検査や在宅医療等に関しては従来に比べ遜色なく行うことが出来ました。午後の一般外来も従来の診療態勢に戻せるよう逐次努力してまいります。

当診療所では町立第一小学校、西小学校、県立金ケ崎高校をはじめ町内全幼稚園の校医も勤めております。当診療所の医師を派遣して小学生や園児の健診を行い、また各種感染症対策等に関しコンサルテーションも行いました。日本の将来を担う子供たちの成長を見るのは楽しみでもあり、今後も微力ながらお手伝いしたいと思います。

県立胆沢病院は臨床研修医の研修機関、医学生の実習施設として医師育成のためその力を存分に発揮しておりますが、当診療所も協力施設として登録させていただいております。当診療所には二年次の研修医の先生方が地域医療研修として1カ月の研修に来てくれます。令和5年度は2名の先生に来ていただき、一緒に地域医療に当たりました。我々受け入れ側においても若い医師の存在は刺激となり、そして指導のために勉強することにより良い相乗効果があると思っています。学生も岩手医科大学5年生5名、東北医科薬科大学6年生2名、各々一週間の実習に来てくれました。将来岩手で地域医療に従事したいという学生もあり、甚だ頼もしく感じました。研修医や学生の歓迎会、送別会には町長さん、副町長も参加してくださり、診療所のみならず金ケ崎町を挙げて将来へと続く地域医療を守っていく所存であります。

今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

金ヶ崎診療所の理念と基本方針

【理念】

町民が明るく健康でいられるようにお手伝いします。

【基本方針】

1. 患者様の訴えを真摯に伺い診療に当たります。
2. 迅速で的確な医療を提供します。
3. 患者様中心の全人的医療を目指します。
4. 訪問診療の充実を図ります。
5. 近隣の医療機関と連携を密にすることにより紹介、入院を容易にします。
6. 出前講演や広報等を通じて地域の予防医学に貢献します。

金ヶ崎保健福祉センター事業目的

1. 金ヶ崎診療所

- 1) 金ヶ崎町は人口約 15,000 人で北上市、奥州市に囲まれており、周辺には県立中部病院、県立胆沢病院、県立江刺病院、北上済生会病院、総合水沢病院等の総合病院が林立しております。金ヶ崎診療所は無床診療所であり、一般外来診療と訪問診療、講演等の疾病啓発活動を中心に事業を行っています。当診療所の役割は地域医療であり、患者様を総合的に診、高度な医療が必要な患者や、入院が必要な患者を上述の病院にスムーズに紹介し入院できる環境を作る事にあります。
- 2) 診療所の機能
 - 一般総合内科外来診療
 - 消化器科・外科・肛門外科・神経内科・泌尿器科・婦人科・眼科・整形外科・循環器内科・呼吸器内科の専門外来
 - 禁煙外来
 - 訪問診療
- 3) 各種ワクチン接種（新型コロナワクチン、インフルエンザワクチン、その他小児を含む）
- 4) 発熱外来（新型コロナ、インフルエンザ対応）

2. 金ヶ崎歯科診療所

- 1) 一般歯科
- 2) 小児歯科
- 3) 歯科検診

3. 訪問看護ステーション

- 1) 訪問看護（24 時間対応）
- 2) 訪問注射
- 3) 訪問診療と合同で緩和医療、看取り

4. 保健福祉センター

- 1) 福祉係
- 2) 医療係
- 3) 元気 100 歳健康支援係
- 4) 介護保険係
- 5) 地域包括支援センター
- 6) 新型コロナウイルスワクチン接種対策室

1. 金ヶ崎診療所施設の概況

(1) 診療所施設等の状況

1) 標榜診療科 内科、外科、泌尿器科、肛門外科、歯科

曜日指定診療科 神経内科、呼吸器内科、循環器内科、整形外科、婦人科、眼科

2) 一般外来診療

3) 主な医療機器の整備状況

【放射線部門】

全身用コンピューター撮影装置 (MDCT16 列)、一般撮影装置、診断用 X 線テレビ装置、骨密度測定装置 (DEXA)

【検査部門】

全自動血液分析装置、自動血球計数装置、ABI (CAVI)、心電計、ホルター心電計

【その他】

経鼻上部消化管電子内視鏡、経口上部消化管電子内視鏡、

気管支ファイバー内視鏡、超音波診断装置 (心エコー、頸動脈エコー可)

泌尿器科膀胱電子内視鏡セット、尿流測定装置、簡易残尿測定装置

(2) 診療圏人口等の状況

1) 診療圏人口 (令和 6 年 3 月 31 日現在)

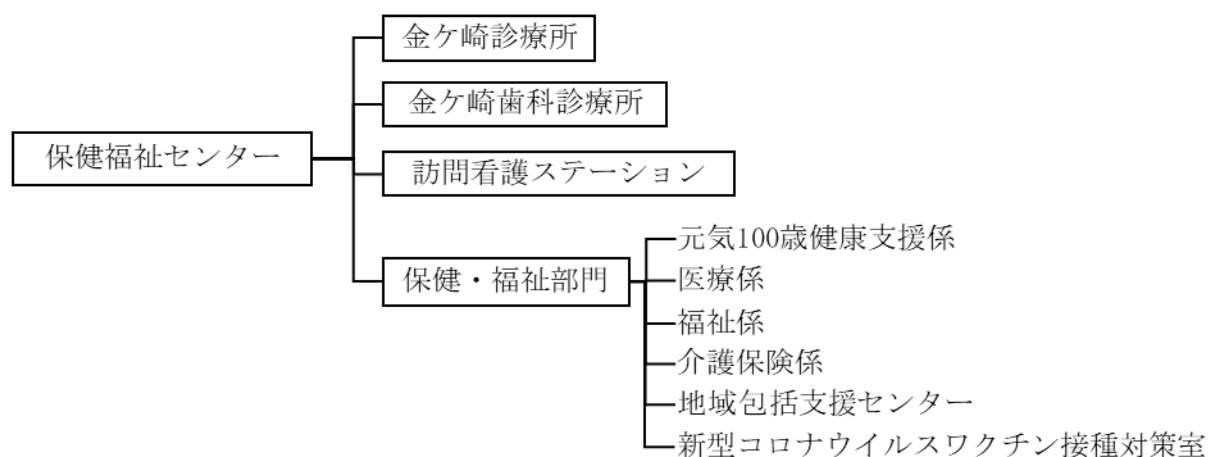
124,038 人

金ヶ崎町 15,102 人、奥州市 108,936 人

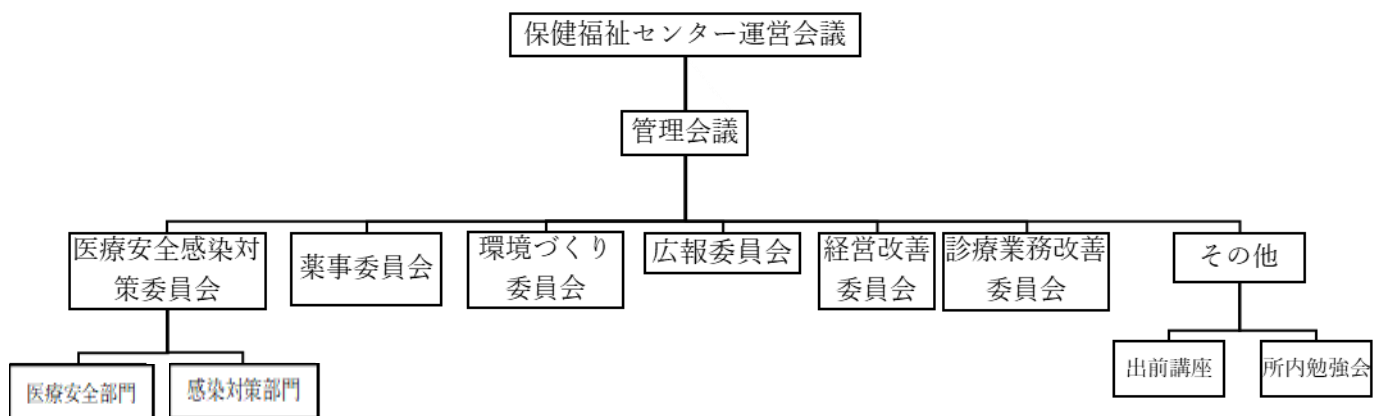
2) 病院及び診療所の状況 (地域医療情報システムより)

金ヶ崎町	一般診療所	6	病床数	0 床
	歯科診療所	5		
奥州市	病 院 数	9	病床数	1,559 床
	一般診療所	67	病床数	117 床
	歯科診療所	50		

(3) 診療所組織図



(4) 委員会組織図



（５）診療体制及び職員の状況

1) 医師数の状況（令和6年3月31日現在）

（単位：人）

診療科	常勤	診療応援	診療応援の内訳
内科	2		
神経内科		1	毎週1回、火曜日午後
呼吸器内科		1	毎週1回、月曜日午前
循環器内科		1	毎週1回、木曜日午前
外科	1		
整形外科		1	毎週1回、火曜日午後
泌尿器科	(1)		
肛門外科	(1)		
婦人科		2	隔週、木曜日午前・金曜午後
眼科		1	毎週1回、月曜日午後
歯科	1		
計	4	7	

※（ ）は兼任

2) 職員数の状況（令和6年3月31日現在）

（単位：人）

診療科	常勤	会計年度任用職員	計	備考
医師	3		3	
歯科医師	1		1	
看護師	9	1	10	※1名育休中
薬剤師	1	1	2	
検査技師	1	1	2	
放射線技師	1	2	3	
歯科衛生士	1		1	
事務職員	3	1	4	
計	20	6	26	

※診療所・歯科診療所・訪問看護ステーション職員の合計

(6) 事業運営状況

国民健康保険診療施設特別会計

国民健康保険診療施設特別会計の歳入総額は、医科勘定 419,605 千円と歯科勘定 52,197 千円を合わせた 471,802 千円で、歳出総額は医科勘定 389,504 千円と歯科勘定 48,235 千円を合わせた 437,739 千円となり、収支差引残額は 34,063 千円である。

【医科勘定】

令和5年度は、医師3人の診療体制であった。

診療応援では、婦人科は岩手医科大学からの応援をいただき月4回（担当医師によって木曜日午前または金曜日午後）、神経内科も岩手医科大学からの応援をいただき火曜日午後に診療を行った。眼科は毎週月曜日午後に診療を行った。整形外科は北上済生会病院からの応援をいただき、毎週木曜日午後に診療を行った。循環器内科は毎週木曜日午前に診療を行った。呼吸器内科は毎週月曜日午前に診療を行った。

昨年同様に、早朝診療・訪問診療・土曜日診療の実施、検診等の積極的受入れ、企業の産業医としての医師派遣、地域医療連携のため県立病院等へ医師を派遣する診療応援を行うことで、利用者サービスの充実を図った。

インフルエンザ予防のため町内企業の従業員へのワクチン接種を実施した。

また、令和2年度に開始した発熱外来での新型コロナウイルス感染症に係る検査を引き続き実施するとともに、診療所での新型コロナウイルスワクチン接種を実施した。

1. 診療所の状況

(1) 診療科目（令和6年3月31日現在）

内科、泌尿器科、外科、肛門外科、婦人科、神経内科、眼科、整形外科、循環器内科、呼吸器内科

(2) 職員数（令和6年3月31日現在）

（単位：人）

職種 \ 区分	正 規	非常勤	計
医 師	3	0	3
看 護 師	6	1	7
薬 剤 職 員	1	1	2
医療技術員	2	3	5
事務職員	3	1	4
計	15	6	21

2. 業務の概要

(1) 年延べ外来患者数、1日平均患者数、1人平均診療単価

(単位：人・円)

区分 診療科	年延べ外来患者数		1日平均患者数		1人平均診療単価	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度 (土曜日除く)	令和4年度 (土曜日除く)	令和5年度	令和4年度
内 科	18,962	19,838	74.7 (77.2)	78.1 (80.7)	7,957	8,630
神 経 内 科	198	153	4.0	3.3	4,361	4,621
婦 人 科	271	230	6.5	5.3	4,400	4,534
眼 科	446	532	9.9	11.6	4,059	4,195
整 形 外 科	755	755	15.4	16.8	4,789	3,942
循環器内科	703	702	7.7	8.2	8,200	7,708
呼吸器内科	232	220	5.4	5.4	8,364	7,462
計	21,567	22,430				

※診療日数は令和5年度内科254日（うち土曜日診療24回）、神経内科50日、婦人科42日、眼科45日、整形外科49日、循環器内科91日、呼吸器内科43日。令和4年度内科254日（うち土曜日診療24回）、神経内科46日、婦人科43日、眼科46日、整形外科45日、循環器内科86日、呼吸器内科41日。

※土曜日診療の開設日数は1回あたり0.5日換算。

(2) 職員1人1日当たり患者数

(単位：人・%)

区分 職種	令和5年度	令和4年度	増 減	増 減 率
医 師	28.3	29.4	△1.1	△3.7
看 護 師	12.1	12.6	△0.5	△4.0
薬 剤 職 員	42.5	44.2	△1.7	△3.8
医療技術員	17.0	17.7	△0.7	△4.0
事 務 職 員	21.2	22.1	△0.9	△4.1

※診療日数は、令和5年度内科254日、令和4年度内科254日（土曜診療日含む）。

(3) 検査、X線、調剤件数

(単位：件・%)

区 分		令和5年度	令和4年度	増 減	増 減 率
内視鏡検査	年延べ検査件数	505	554	△49	△8.8
生化学的検査等	年延べ検査件数	78,244	81,987	△3,743	△4.6
X 線	年延べX線件数	3,030	2,897	133	4.6
C T	年延べC T件数	479	454	25	5.5
調 剤	年延べ調剤件数	565	613	△48	△7.8

(4) 在宅訪問活動

(単位：人・日・%)

区 分		令和5年度	令和4年度	増 減	増 減 率
訪問診療	実 人 数	65	63	2	3.2
	延べ人数	422	429	△7	△1.6
	日 数	94	90	4	4.4

(5) 介護保険主治医意見書作成

(単位：件・円・%)

区 分	令和5年度	令和4年度	増 減	増 減 率
件 数	169	149	20	13.4
金 額	812,900	725,300	87,600	12.1

(6) 保健活動状況 (受診者数)

(単位:人)

項 目		乳幼児	幼稚園児	小学生	中・高校生	一 般	合 計
検 診	骨粗鬆症検診					250	250
	幼稚園児内科健診		107				107
	児童定期・就学時健診			193			193
予 防 接 種	二種混合			16			16
	四種混合	36					36
	麻しん・風しん混合	11	9			3	23
	インフルエンザ	※108			※482		590
	高齢者インフルエンザ					1,248	1,248
	ヒブ	35					35
	日本脳炎	3	15	14	9	4	45
	小児用肺炎球菌	36					36
	高齢者肺炎球菌					110	110
	水痘	19					19
	おたふく	7					7
	B型肝炎	26				2	28
	ロタウイルス	14					14
	子宮頸がんワクチン				65		65
	その他					19	19
計		187	24	30	74	1,386	2,291

※インフルエンザの予防注射については、12歳以下か13歳以上で集計しているため、計には含んでいない。

(7) 診療所における健康管理事業 (補助事業)

- ①総合相談窓口 386 件
- ②健康増進運動教室 45 回 参加者 1,548 人
- ③地域における出前講座 10 回
- ④広報委員会
保健福祉センターだより 6 回発行 (全戸配布)
- ⑤所内勉強会 3 回

(8) 受託状況

- ①産業医契約 4 事業所
- ②従業員検診等 31 事業所 796 人
- ③町民集団検診 (骨粗鬆症) 250 人

(9) 診療応援の状況

- ①岩手県立千厩病院 96 回
- ②奥州市総合水沢病院 48 回

(10) 早朝診療の実施

学生や出勤前の方等を対象として、午前8時から診療開始。
延べ235人利用 (令和4年度 230人)

(11) 土曜日診療の実施

第2・第4土曜日の午前8時30分～11時30分まで受付し、診療を実施。
24回実施、延べ276人利用、1回平均11.5人 (令和4年度24回実施、延べ319人利用、1回平均13.3人)

(12) 臨床研修医及び実習生の受入れ

①岩手県立胆沢病院臨床研修病院群の協力型臨床研修施設として、研修医 2 人を受け入れた。

②医師教育のための実習施設として、医学部実習生を受け入れた。

- ・東北医科薬科大学医学部 第 6 学年 2 人
- ・岩手医科大学医学部 第 5 学年 5 人

(13) 事業分析

(単位：円・%)

項 目		令和 5 年度	令和 4 年度	増 減	増 減 率
患者 1 人 1 日 当 たり医療材料費	薬 品	862	891	△29	△3.3
	その他医療材料	599	574	25	4.4
計		1,461	1,465	△4	△0.3
診療収入に対する職員給与費の割合		79.0	70.7	8.3	11.7
診療収入に対する医療材料費の割合		17.0	16.0	1.0	6.3

3. 決算の状況

(1) 収支状況

医科の歳入総額は、419,605 千円、歳出総額は 389,504 千円となり、収支差引残額は 30,101 千円となった。

(2) 歳入

医科の歳入は、診療収入が 184,968 千円で 44.1%を占めている。また、予防接種が主な自由診療収入は、24,463 千円で 5.8%を占めている。

(3) 歳出

歳出は、人件費を含む一般管理費が 262,524 千円で 67.4%、医薬品材料費は 32,831 千円で 8.4%を占めている。

歳 入

(単位：円・%)

科 目		令和 5 年度	令和 4 年度	増 減	増 減 率
診療収入		184,968,127	205,037,010	△20,068,883	△9.8
診療収入	外来収入	158,899,038	177,640,626	△18,741,588	△10.6
	国民健康保険診療報酬収入	22,754,512	25,535,748	△2,781,236	△10.9
	社会保険診療報酬収入	28,266,305	43,261,263	△14,994,958	△34.7
	後期高齢者医療保険診療収入	80,396,293	82,106,071	△1,709,778	△2.1
	一部負担金収入	27,481,928	26,737,544	744,384	2.8
	その他診療収入	26,069,089	27,396,384	△1,327,295	△4.8
	健康診断料	1,366,110	1,686,261	△320,151	△19.0
	自由診療収入	24,463,317	25,415,301	△951,984	△3.7
	検査料	237,336	280,170	△42,834	△15.3
	その他収入	2,326	14,652	△12,326	△84.1
使用料及び手数料		1,334,046	1,228,383	105,663	8.6
使用料及び手数料	使用料	44,376	46,611	△2,235	△4.8
	手数料	1,289,670	1,181,772	107,898	9.1
	文書料	1,273,830	1,168,572	105,258	9.0
	手数料	15,840	13,200	2,640	20.0

歳 入(続き)

(単位:円・%)

科 目	令和5年度	令和4年度	増 減	増 減 率
繰入金	158,092,000	138,933,000	19,159,000	13.8
他会計繰入金	158,092,000	138,933,000	19,159,000	13.8
一般会計繰入金	156,438,000	138,450,000	17,988,000	13.0
他会計繰入金	1,654,000	483,000	1,171,000	242.4
繰越金	36,578,260	55,303,331	△18,725,071	△33.9
諸収入	26,732,592	17,961,442	8,771,150	48.8
雑入	26,732,592	17,961,442	8,771,150	48.8
受託収入	8,097,825	7,795,532	302,293	3.9
雑入	10,323,767	10,165,910	157,857	1.6
医療提供体制設備整備交付金(過年度分)	429,000	0	429,000	皆増
新型コロナウイルスワクチン個別接種促進支援金	7,762,000	0	7,762,000	皆増
外来対応医療機関設備整備事業補助金	120,000	0	120,000	皆増
町債	11,900,000	0	11,900,000	皆増
病院事業債	11,900,000	0	11,900,000	皆増
県支出金	0	14,696,000	△14,696,000	皆減
県補助金	0	14,696,000	△14,696,000	皆減
新型コロナウイルスワクチン個別接種促進交付金	0	14,696,000	△14,696,000	皆減
国庫支出金	0	1,403,000	△1,403,000	皆減
国庫補助金	0	1,403,000	△1,403,000	皆減
帰国者・接触者外来等設備整備事業補助金	0	1,403,000	△1,403,000	皆減
計	419,605,025	434,562,166	△14,957,141	△3.4

歳 出

(単位:円・%)

科 目	令和5年度	令和4年度	増 減	増 減 率
総務費	275,974,321	281,510,448	△5,536,127	△2.0
施設管理費	262,523,521	281,328,948	△18,805,427	△6.7
一般管理費	262,523,521	281,328,948	△18,805,427	△6.7
施設整備費	13,450,800	181,500	13,269,300	-
施設整備費	13,450,800	181,500	13,269,300	-
医業費	50,666,470	52,358,269	△1,691,799	△3.2
医業費	50,666,470	52,358,269	△1,691,799	△3.2
医療用機械器具費	14,228,607	10,802,470	3,426,137	31.7
医薬品材料費	32,831,248	34,444,675	△1,613,427	△4.7
試験検査費	3,606,615	7,111,124	△3,504,509	△49.3
公債費	62,863,438	64,115,189	△1,251,751	△2.0
元金	61,345,180	62,477,175	△1,131,995	△1.8
利子	1,518,258	1,638,014	△119,756	△7.3
計	389,504,229	397,983,906	△8,479,677	△2.1

国民健康保険診療施設特別会計

【歯科勘定】

歯科医師 1 人、歯科衛生士 1 人体制であった。

前年度と同様、診療所での診療に加え健康管理事業に取り組み、訪問歯科診療を実施した。また、乳幼児から高齢者までの広い年代への検診を実施した。

1. 診療所の状況

(1) 診療科目

歯科、小児歯科

(2) 職員数（令和 6 年 3 月 31 日現在）

（単位：人）

職 種 \ 区 分	正 規	非常勤	計
歯 科 医 師	1	0	1
歯科衛生士	1	0	1
計	2	0	2

2. 業務の概要

(1) 年延べ外来患者数、1 日平均患者数、1 人平均診療単価

（単位：人・円）

診療科 \ 区 分	年延べ外来患者数		1 日平均患者数		1 人平均診療単価	
	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
歯 科 （うち小児歯科）	3,418 (156)	3,669 (218)	15.6 (0.7)	16.9 (1.0)	7,644	7,665

※診療日数は令和 5 年度 219 日、令和 4 年度 217 日。

(2) 職員 1 人 1 日当たり患者数

（単位：人・％）

職 種 \ 区 分	令和 5 年度	令和 4 年度	増 減	増 減 率
歯科医師	15.6	16.9	△1.3	△7.7

(3) 在宅訪問活動

（単位：人・回・％）

区 分		令和 5 年度	令和 4 年度	増 減	増 減 率
訪問歯科	実 人 数	11	25	△14	△56.0
	延べ人数	36	116	△80	△69.0
	延べ回数	25	41	△16	△39.0

(4) 保健活動の状況

受診者数

(単位：人)

項 目		乳幼児	幼稚園	一 般	計
検 診	成人歯科検診	—	—	27	27
	妊婦歯科検診	—	—	8	8
	75 歳歯科検診	—	—	12	12
	幼稚園児歯科検診	—	110	—	110
	乳幼児歯科検診	273	—	—	273
計		273	110	47	430

(5) 事業分析

(単位：円・%)

項 目	令和5年度	令和4年度	増 減	増 減 率
患者1人1日当たり医療材料費	879	1,058	△179	△16.9
診療収入に対する職員給与費の割合	95.0	87.0	8.0	9.2
診療収入に対する医療材料費の割合	11.5	13.3	△1.8	△13.5

3. 決算の状況

(1) 収支状況

歯科の歳入総額は、52,197千円、歳出総額は48,235千円となり、収支差引残額は3,962千円となった。

(2) 歳入

歯科の歳入は、診療収入が26,173千円で50.1%、繰入金は14,098千円で27.0%を占めている。

(3) 歳出

歳出は、一般管理費が40,830千円で84.6%、医療品材料費は6,806千円で14.1%を占めている。

歳 入

(単位：円・%)

科 目	令和5年度	令和4年度	増 減	増 減 率
診療収入	26,172,706	29,157,821	△2,985,115	△10.2
外来収入	26,106,706	29,157,821	△3,051,115	△10.5
国民健康保険診療報酬収入	5,639,308	5,666,911	△27,603	△0.5
社会保険診療報酬収入	3,470,381	4,057,196	△586,815	△14.5
後期高齢者医療保険診療報酬収入	12,449,093	14,507,104	△2,058,011	△14.2
一部負担金収入	4,547,924	4,926,610	△378,686	△7.7
その他診療収入	66,000	0	66,000	皆増
自由診療収入	66,000	0	66,000	皆増
使用料及び手数料	3,080	1,100	1,980	180.0
手数料	3,080	1,100	1,980	180.0
繰入金	14,098,000	23,568,000	△9,470,000	△40.2
他会計繰入金	14,098,000	23,568,000	△9,470,000	△40.2
一般会計繰入金	14,083,000	23,553,000	△9,470,000	△40.2
他会計繰入金	15,000	15,000	0	0
繰越金	10,037,736	9,982,144	55,592	0.6
諸収入	1,885,350	1,705,326	180,024	10.6
雑入	1,885,350	1,705,326	180,024	10.6
受託収入	446,660	427,690	18,970	4.4
雑入	1,438,690	1,277,636	161,054	12.6
国庫支出金	0	429,000	△429,000	皆減
国庫負担金	0	429,000	△429,000	皆減
医療提供体制設備整備交付金	0	429,000	△429,000	皆減
計	52,196,872	64,843,391	△12,646,519	△19.5

歳 出

(単位：円・%)

科 目	令和5年度	令和4年度	増 減	増 減 率
総務費	40,830,382	43,117,706	△2,287,324	△5.3
施設管理費	40,830,382	43,117,706	△2,287,324	△5.3
一般管理費	40,830,382	43,117,706	△2,287,324	△5.3
医業費	7,404,931	8,337,195	△932,264	△11.2
医業費	7,404,931	8,337,195	△932,264	△11.2
医療用機械器具費	599,390	394,185	205,205	52.1
医療品材料費	6,805,541	7,943,010	△1,137,469	△14.3
公債費	0	3,350,754	△3,350,754	皆減
元金	0	3,350,502	△3,350,502	皆減
利子	0	252	△252	皆減
計	48,235,313	54,805,655	△6,570,342	△12.0

訪問看護ステーション事業特別会計

1. 概 況

金ケ崎町訪問看護ステーションは、利用者・家族・主治医・介護支援専門員との連携を深めサービスの向上に努めた。国保金ケ崎診療所所長が訪問看護ステーション所長を兼務し、国保金ケ崎診療所の訪問診療と連携をとり事業を展開した。職員は、専任職員3人、国保金ケ崎診療所との兼務職員6人の体制で、24時間緊急対応、休日ケアプラン対応によるサービスを実施した。

財政状況は、歳入総額が28,640千円、歳出総額27,316千円で、収支差引額1,324千円である。

2. 財政状況

歳 入

(単位：円・%)

科 目	令 和 5 年 度	令 和 4 年 度	増 減	増 減 率
療 養 給 付 費	5,973,288	6,155,012	△181,724	△3.0
利 用 料	707,244	753,180	△45,936	△6.1
介 護 給 付 費	8,217,536	8,319,854	△102,318	△1.2
自 己 負 担 金	932,504	953,466	△20,962	△2.2
繰 入 金	11,935,000	10,736,000	1,199,000	11.2
繰 越 金	828,342	1,112,464	△284,122	△25.5
諸 収 入	46,000	38,500	7,500	19.5
合 計 (A)	28,639,914	28,068,476	571,438	2.0

歳 出

(単位：円・%)

科 目	令 和 5 年 度	令 和 4 年 度	増 減	増 減 率
給 料	12,779,700	12,638,700	141,000	1.1
職 員 手 当	8,598,900	8,310,184	288,716	3.5
共 済 費	3,957,142	4,023,760	△66,618	△1.7
旅 費	0	0	0	0.0
需 用 費	427,118	364,144	62,974	17.3
役 務 費	148,227	128,882	19,345	15.0
使用料及び賃借料	534,600	554,400	△19,800	△3.6
備 品 購 入 費	0	66,000	△66,000	皆減
負 担 金	35,000	35,000	0	0.0
公 課 費	6,600	6,600	0	0.0
繰 出 金	828,342	1,112,464	△284,122	△25.5
合 計 (B)	27,315,629	27,240,134	75,495	0.3

歳入歳出差引残額

(単位：円・%)

	令 和 5 年 度	令 和 4 年 度	増 減	増 減 率
歳入 (A) － 歳出 (B)	1,324,285	828,342	495,943	59.9

2. 部門別活動状況

内 科

内科長 加藤 喜信

令和5年度も内科外来として医師の体制が変わることなく、診療を継続することができました。

消化器内科の検査のうち、上部消化管内視鏡検査は399例と昨年の426例と比較し少ない結果となりました。3例の早期胃癌を見つけ、これは昨年と同じ結果であり、いずれも胆沢病院消化器内科に紹介し、内視鏡的治療を受けることができました。また進行胃癌を2例発見しました。このうちの1例は92歳と高齢ではありましたが、日常生活が自立されており、手術可能か否かの判断も含め精査目的に県立胆沢病院に紹介したところ、幸い無事手術施行され、現在も当科外来に元気で通院されています。胃癌は早期に発見すれば内視鏡的治療が可能で、入院も1週間程度で済むため、本人および家族の負担も外科的手術に比べれば軽いものとなります。そのため胃癌の好発リスクである慢性胃炎やピロリ菌除菌後の胃に対し定期的に上部消化管内視鏡検査を行うことで、胃癌を早期のうちに発見できるように心がけていきたいと考えております。また、上部消化管内視鏡検査を受けたことのない若い人ほど、ピロリ菌除菌の恩恵も大きくなると思われるため、ピロリ菌と胃癌の関係などの話を周知して行くことも重要であると思われます。

下部消化管内視鏡検査は106例施行しましたが、こちらも昨年の128例と比較すると減少しております。進行大腸癌を2例認め、1例は外科的手術で完治したものの、1例は多発肝転移・リンパ節転移を認める状態でした。大腸癌は近年増加傾向が続く癌であり、大腸癌検診で便鮮血陽性の方や、下血を認めた方など大腸癌が疑われる方は積極的に下部内視鏡検査をする必要があると思われます。上部消化管内視鏡検査と比較すると、検査をする方も受ける方も大変な検査となりますが、できる限り楽で安全な検査が出来るよう心がけて行きたいと思っております。

検査以外の日常の外来では、今年度も患者さん主体の医療を忘れず、日々の診療に取り組んでいきたいと思っております。

神 経 内 科

担当看護師 石母田 陽子

令和5年度も、引き続き岩手医科大学付属病院脳神経内科より大浦一雅先生の応援をいただき、毎週木曜日午後の診療を行うことができました。患者数は前年度から45名増の198名でした。今年度も昨年同様、所内の各科からの紹介に加え、数名ではありますが近隣医療機関からの紹介がありました。1日平均患者数は約4人で、主な症状は、手足のしびれ、めまい、ふらつき等でした。

次年度も引き続き岩手医科大学付属病院脳神経内科より大浦一雅先生に応援いただきます。

今後も各科と協力しながら患者数の増加に取り組んでいきたいと思います。

神経内科の診療は以下のとおりです。

診療医師 大浦 一雅 先生

診 察 日 毎週木曜日午後

診療時間 (完全予約制) 14時～受付された方が終了するまで

呼吸器内科

担当看護師 新岡 蘭

令和5年度も引き続き、北上済生会病院呼吸器内科より小川純一先生の応援をいただき、呼吸器内科の診療を行うことができました。毎週月曜日の午前に診療を行っており、令和5年度の患者数(延べ人数)は、232人(うち初診48人)で、前年度より12人増(初診23人減)でした。所内各科からの紹介に加え、結核検診で異常を指摘され受診される患者様や、SARS-CoV-2感染症罹患後で不調が続く患者様の受診等が多くみられました。

所外にて精査や加療が必要な場合は、近隣の医療機関へ紹介し、速やかに治療が受けられるよう援助ができました。

令和5年度 検査・処置件数

検査・処置	件数
肺気量分画・フローボリュームカーブ	10件
胸部X線	44件
CT(造影含む)	56件
細胞診	3件
培養	0件

循環器内科

担当看護師 高橋 須磨

令和5年度も引き続き、佐藤紀夫先生に応援をいただき、毎週木曜日の午前に診療を行うことができました。1日平均15人程度の患者さんが来院しており、心房細動、心室性期外収縮、うつ血性心不全など病気の診断治療が中心でした。入院が必要な患者様は他病院へご紹介とスムーズな連携を図っていただいています。

◇令和5年度患者数（延べ人数）：702人

上記のうち初診：36人

ホルター心電図検査数：35件

心エコー図検査数：25件

外 科

外科長 古田 一裕

外科診療内容は消化器一般外科、整形外科疾患、癌一般の診断および癌末期の在宅管理を主に行っています。

消化器一般外科としては消化器疾患、肛門疾患、外傷、体表の腫瘍、褥瘡、皮膚疾患、爪の疾患、熱傷を主な診療対象としています。創処置、熱傷に関しては可能な症例には閉鎖湿潤療法を心がけて診療しています。また褥瘡に関しては解放湿潤療法を主に行っています。巻き爪に対しては主に矯正治療のコレクティオを行っていますが、難治症例に関してはフェノール法を開始しました。

肛門疾患に関しては診断と保存的治療を行っています。内痔核に対しては四段階注射療法（ジオン注射療法）の導入を準備しましたが、手術が必要な症例と同様に手術可能な近隣外科に紹介しています。

整形外科疾患に関しては骨折、腰痛、肩関節周囲炎、骨粗鬆症、脊柱管狭窄症、変形性膝関節症の診察をしています。加えて平成 30 年 7 月より、月 2 回の非常勤医師による整形外科が開始されました。令和 2 年 4 月より毎週の診察となっています。専門的な加療を必要とする整形外科疾患や緊急を要さない骨折が当院でも診療可能になりました。県立江刺病院整形外科、県立胆沢病院整形外科、北上済生会病院整形外科、県立中央病院整形外科に紹介し診断および治療の確定をした後に当科での経過観察とするようにしています。人口構成の高齢化に伴って、さらに整形外科疾患の診察の需要が昨年にも増して増加しており、今後もさらに高まると思われます。

癌の診療に関しては内科、加藤先生の協力のもと上部消化管内視鏡検査、下部消化管検査内視鏡検査を積極的行っています。また、癌末期の在宅診療、在宅緩和ケア、看取りも積極的行っています。県立胆沢病院、県立中部病院での化学療法の補助（GCSF の投与）も行うようにしています。また、乳がんのホルモン療法の依頼もあり今後、徐々に増加すると思われます。

昨年度より高齢者の転倒による頭部外傷に対して積極的な頭部 C T 撮影をしています但本年度も頭蓋内出血、頭蓋骨骨折、顎骨骨折を伴う症例を認め近隣脳外科・形成外科への紹介を行っています。今後も継続して撮影を行うこととしています。

診療実績は令和 5 年度外科年報でみると前年度と比べて外科関連疾患数はほぼ前年と同様となっています。新型コロナ 5 類移行後も外科の受診者数はあまり増加していません。町内で外科対象疾患の初診施設としての機能が軌道に乗ったと思われます。

◇令和5年度 外来診療実績 ※（ ）内は前年度実績

創処処置、小手術	54	(66)	件	抜爪、爪周囲炎	51	(34)	件
2度熱傷以上	28	(52)	件	切開排膿	7	(22)	件
コレクティオ	0	(0)	件	肛門鏡検査	26	(14)	件
肛門疾患患者数	150	(138)	件	骨粗鬆症患者数	520	(513)	件
骨折の診断	44	(62)	件				

◇出席学会等

日本外科学会、日本胃癌学会、日本乳癌学会、日本大腸肛門病学会、全国国保地域医療学会

整 形 外 科

担当看護師 新岡 蘭

令和5年度は、北上済生会病院整形外科の大矢康貴先生に応援をいただき、毎週木曜日午後に診療を行うことができました。

変形性膝関節症、変形性股関節症の患者様をはじめ、脊柱管疾患の患者様、骨折や骨粗鬆症、慢性的な疼痛や痺れで悩まれている患者様など、様々な疼痛・苦痛を抱える患者様が受診しています。

また、これまでは近隣の市町村の整形外科へ通院することが可能であった患者様が、高齢となったために通院困難を訴え当診療所を受診する事も少なくなく、予約枠限度の人数を受け入れることも多くなっています。令和5年度の患者数(延べ人数)は、753人(前年度より3人増)でした。

MRI 検査が必要な患者様においては、奥州市総合水沢病院や北上済生会病院との連携で精査・診断が可能となっています。手術が必要な患者様においても、北上済生会病院や県立中部病院等、近隣の医療機関との連携をはかることで、スムーズに治療が開始できています。

◇令和5年度 検査・処置件数

検査、処置	件数
トリガーポイント	53 件
関節腔内注射	158 件
X線	165 件
C T (委託MR I 含む)	14 件

泌 尿 器 科

泌尿器科 阿部 俊和

地域医療を守る当診療所においては、医師数も限られ自身の専門分野を超えて広く患者様を診る必要に迫られます。私も自身の専門である泌尿器科領域、腎臓病に限らず、糖尿病、脂質異常症、高血圧等の生活習慣病をはじめ、心疾患、COPD、在宅酸素療法、禁煙、肺炎の治療など、専門以外の疾患にも広く対応しております。

自身の専門域においては、尿路感染症をはじめ過活動膀胱、前立腺肥大症、前立腺癌、膀胱癌、慢性腎臓病等の腎・泌尿器科疾患を診ておりますが、このような専門領域の診断、治療に関しては、当診療所が有する CT、軟性尿道膀胱鏡システム、経直腸超音波検査装置、尿流測定器、残尿測定器のような医療機器を駆使して、そして心の余裕をもって当たっております。当診療所での診断・治療においては、入院設備がないことや医療機器の関係上限界がありますが、県立胆沢病院をはじめ、総合水沢病院や県立中部病院、そして県立江刺病院など周辺との連携は密に取れており、必要に応じて患者様を紹介させていただいております。更に治療後には逆紹介でフォローさせて頂いており、患者様にとっても町内での治療の継続が可能で、利便性も図れていると思います。

今後も専門性の高い医療が提供できる様に自己研鑽を続けたいと思います。

◇主な検査・処置

膀胱鏡検査：9 件

前立腺生検：0 件

尿流測定：16 件

残尿測定：116 件

超音波検査：65 件

自己導尿患者数：8 名

膀胱瘻患者数：6 名

Foley カテーテル留置患者数：21 名

婦 人 科

担当看護師 木村 優李

令和5年度は、岩手医科大学教授の福島明宗先生と板持広明先生の2名の医師の応援により、月4回の診療を行うことができました。

婦人科外来の一日平均患者数は約7人と昨年と同程度であり、町民検診後の9～10月以降に患者数が増加傾向でした。

受診目的として、精密検査、リングペッサリー使用のための処置等経過観察、更年期障害、月経不順、膣炎等でした。

精密検査件数は、細胞診と超音波検査が前年度より増加しており、定期的に子宮筋腫や卵巣のう腫等で経過観察する患者様が定着してきております。手術や継続的治療が必要な方は盛岡赤十字病院や県立中部病院へ紹介し、スムーズな連携を図ることが出来ました。

婦人科では、さまざまな悩みを抱え、年齢や羞恥心で相談できずにいる方も多いと思われます。小さな悩みでも相談できる環境を作っていきたいと思います。

◇令和5年度検査件数

検 査 項 目	件 数
子宮頸部細胞診	50 件
子宮内膜細胞診	11 件
超音波検査	61 件
その他（CT 造影等）	5 件

眼 科

主任看護師 高橋 須磨

眼科は平成 30 年 2 月に開設してから約 6 年が経過しました。

診療時間は毎週月曜日の午後 1 時 30 分から午後 4 時 30 分の受付となります。

1 週間に 1 度午後のみ診療となりますので、視力・眼圧測定、精密眼底検査、眼底カメラ撮影等検診を中心とした診察となります。月 1 回の視能訓練士による眼鏡矯正を開始し、眼鏡処方も行っております。

診察のうえ、白内障で手術が必要な方や、緑内障で継続的に治療が必要で視野検査が必要な患者様は北上済生会病院へ紹介いたしております。手術後の経過治療は当診療所で行うことにより患者様の負担の軽減につながったと考えます。また地域連携として県立胆沢病院や北上済生会病院よりご紹介いただくこともあり、今後もさらに連携を深めていきたいと考えております。

来院する方は、遠方まで通院することが困難な方が多く、身近な存在としてご利用頂きたいと思っております。

◇令和 5 年度 患者数（延べ人数）：428 人

上記のうち初診：99 人

◇令和 5 年度検査件数

検査項目	件数
鼻涙管ブジー	10 件
涙管通水、通色素検査	1 件
眼底カメラ	77 件
眼底三次元	30 件
矯正視力	274 件
屈折検査	135 件
細隙灯顕微鏡検査	448 件
精密眼圧	257 件
精密眼底	258 件

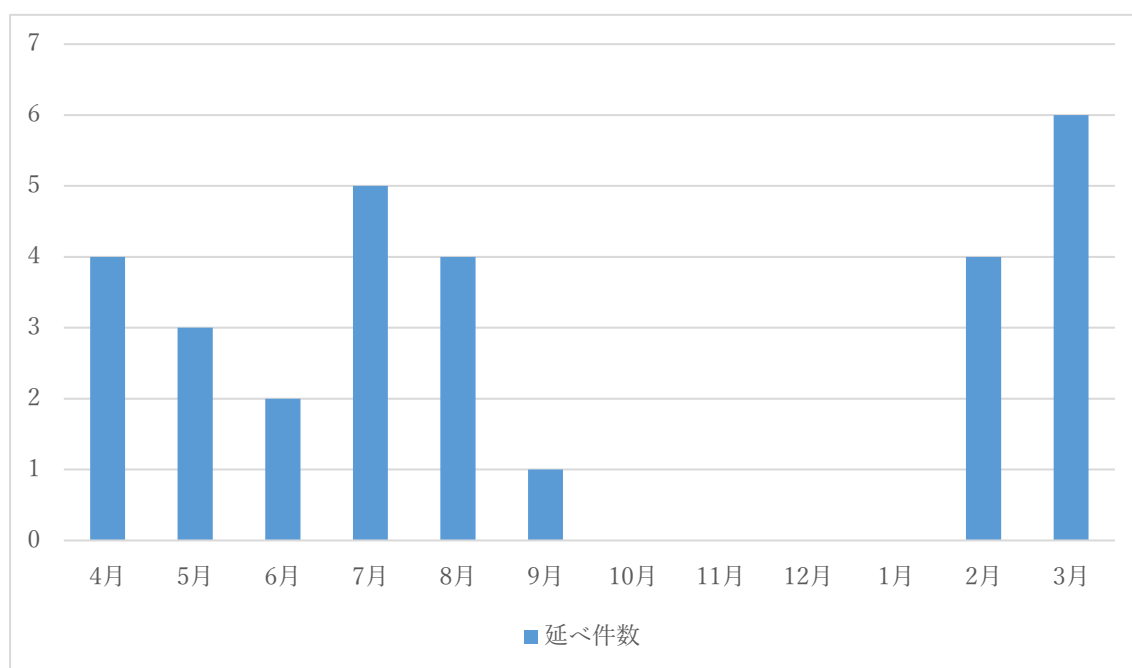
歯 科

歯科長 高橋 通訓

令和5年5月に新型コロナウイルス感染症は「5類感染症」となり、人の行き来も平常を取り戻したものの、施設等では感染が散発的に発生し、予約キャンセルが続く時期もありました。また令和5年度は訪問診療が少ない年で、理由はわかりませんが10月～1月まで0人でした。幼稚園健診は令和3年度の146名、令和4年度の123名、そして5年度の110名と年々減少してきています。

令和6年の全国地域医療学会準備、また東北地方国保診療施設協議会連絡会における東北北海道歯科ブロックの立ち上げ、国診協の「国保直診のありたい姿検討プロジェクト」の会議、1月の地域包括医療・ケア研修会での発表など、例年に比してweb会議も多く、診療以外が多忙な年でした。ここしばらく続くと思いますが、診療と両立させていきたいと思っています。

◇令和5年度 訪問歯科診療月別延べ患者数



R5年度 歯科保健活動実績

		日時	曜日	場所	内 容	対象者
口腔診査						

1歳6ヶ月・3歳6ヶ月歯科検診						
1	R5	4月19日	水	保健センター	1歳6か月健診	8名
2		4月25日	火	保健センター	3歳6か月健診	9名
3		5月31日	水	保健センター	1歳6か月健診	16名
4		6月6日	火	保健センター	3歳6か月健診	9名
5		7月18日	火	保健センター	3歳6か月健診	16名
6		7月19日	水	保健センター	1歳6か月健診	10名
7		8月29日	火	保健センター	3歳6か月健診	17名
8		9月20日	水	保健センター	1歳6か月健診	8名
9		10月18日	水	保健センター	1歳6か月健診	12名
10		10月24日	火	保健センター	3歳6か月健診	15名
11		12月12日	火	保健センター	3歳6か月健診	9名
12		12月20日	水	保健センター	1歳6か月健診	16名
13	R6	1月16日	火	保健センター	3歳6か月健診	19名
14		1月24日	水	保健センター	1歳6か月健診	17名
15		3月5日	火	保健センター	3歳6か月健診	13名
16		3月6日	水	保健センター	1歳6か月健診	9名
						合計 203名

幼稚園歯科検診						
1	R5	5月9日	火	南方幼稚園	幼稚園児歯科検診	年長30名（欠席1名）
2		5月16日	火	三ヶ尻幼稚園	幼稚園児歯科検診	8名（欠席1名）
3		5月23日	火	南方幼稚園	幼稚園児歯科検診	年中22名（欠席2名）+年長1名
4		5月30日	火	南方幼稚園	幼稚園児歯科検診	年少30名（欠席1名）+年中1名
5		6月7日	水	六原幼稚園	幼稚園児歯科検診	16名
6		8月9日	水	三ヶ尻幼稚園	幼稚園児歯科検診	健診未受診1名
7		8月9日	水	南方幼稚園	幼稚園児歯科検診	健診未受診1名
8		8月10日	木	南方幼稚園	幼稚園児歯科検診	健診未受診1名
						合計 110名

各種講座						
1	R5	10月25日	水	瘤木公民館	出前講座	瘤木自治会
糖尿病教室						
個別地域ケア会議						

		日時	曜日	場所	内 容	対象者
各種検診						
1	R5	6月21日	水		人間ドック	1名
2		8月22日	火		人間ドック	1名
3		9月8日	金		人間ドック	1名
4		11月10日	金		人間ドック	1名
5	R6	1月24日	水		人間ドック	1名
6		1月25日	木		人間ドック	1名
						合計 6名

2歳半歯科健診						
1	R5	4月		歯科診療所	2歳半歯科健診	4/5.10.14.21.25.28
2		5月		歯科診療所	2歳半歯科健診	5/1.16.18.22.25
3		6月		歯科診療所	2歳半歯科健診	6/7.16.28
4		7月		歯科診療所	2歳半歯科健診	7/3.7.18.20.26.27
5		8月		歯科診療所	2歳半歯科健診	8/2.10.17.23.29.30
6		9月		歯科診療所	2歳半歯科健診	受診者 なし
7		10月		歯科診療所	2歳半歯科健診	10/4.11.13.18
8		11月		歯科診療所	2歳半歯科健診	11/14.15.21.22.27.30
9		12月		歯科診療所	2歳半歯科健診	12/1.6.13.18.20.22.25.26.28
10	R6	1月		歯科診療所	2歳半歯科健診	1/18.22.26.29.31
11		2月		歯科診療所	2歳半歯科健診	2/7.8.19.20.22.26
12		3月		歯科診療所	2歳半歯科健診	3/1.11.15.19.21
						合計 70名

成人歯科検診						
1	R5	6月		歯科診療所	成人歯科検診	6/29.
2		7月		歯科診療所	成人歯科検診	7/11.18.25
3		8月		歯科診療所	成人歯科検診	8/1.4.16.23.24
4		9月		歯科診療所	成人歯科検診	9/28.
5		10月		歯科診療所	成人歯科検診	10/10.12.16
6		11月		歯科診療所	成人歯科検診	11/9.14.20.29
7		12月		歯科診療所	成人歯科検診	12/7.21.22.25.27
						合計 27名

75歳 歯科検診						
1	R5	6月		歯科診療所	75歳歯科健診	6/9.27
2		7月		歯科診療所	75歳歯科健診	7/4.5.7.21
3		8月		歯科診療所	75歳歯科健診	受診者 なし
4		9月		歯科診療所	75歳歯科健診	9/15.
5		10月		歯科診療所	75歳歯科健診	10/24.
6		11月		歯科診療所	75歳歯科健診	受診者 なし
7		12月		歯科診療所	75歳歯科健診	12.15.22
						合計 12名

		日時	曜日	場所	内 容	対象者
妊婦歯科検診						
1	R5	4月		歯科診療所	妊婦歯科検診	4/5.19
2		5月		歯科診療所	妊婦歯科検診	5/25.
3		6月		歯科診療所	妊婦歯科検診	受診者 なし
4		7月		歯科診療所	妊婦歯科検診	受診者 なし
5		8月		歯科診療所	妊婦歯科検診	8/29.30
6		9月		歯科診療所	妊婦歯科検診	8/11.12
7		10月		歯科診療所	妊婦歯科検診	受診者 なし
8		11月		歯科診療所	妊婦歯科検診	受診者 なし
9		12月		歯科診療所	妊婦歯科検診	12/15.
						合計 8名

岩手医大 実習受け入れ						
1	R5	9月20日	水	歯科診療所	地域医療体験学習	2名
2		10月18日	水	歯科診療所	地域医療体験学習	2名

会議等

	R5	4月27日	木	16:00～19:30	Web会議	国診協「国保直診のありたい姿」
		5月10日	水	17:00～	Web会議	岩手県地域医療研究会「役員会」?
		5月24日	水	14:00～16:30	Web会議	第1回岩手県国保連保健事業 推進会議及び同専門委員会
		6月5日	月	17:00～19:00	Web会議	国診協「国保直診のありたい姿」
		6月24日	土	14:00～		地域医療研究会「春季集会」
		7月8日	土	14:00～		令和5年度 岩手県地域医療研究会 「歯科研究会」
		8月2日	水	13:00～	Web会議	国診協「国保直診のありたい姿」
		8月19日	土	14:00～		第14回現地研修会
		9月7日	木	16:00～	学術部会 Web会議	第64回全国国保地域医療学会運 営委員会 「第3回学術部会」
		9月22日	金	午後	午後 メトロポリタンにて	東北地方国診協連絡会議
		10月5日	木		金沢	国保直診・口腔保健研修会
		10月6日	金	19:00～	金沢	第63回全国国保地域医療学会 岩手参加者情報交換会
		10月28日	土	11:00～		地域医療研究会「秋季集会」
		10月30日	月	10:00～10:30		第2回岩手県国保連保健事業 推進会議専門委員会
		10月30日	月	10:30～12:00		第2回岩手県国保連保健事業推進 会議
		12月15日	金	15:00～16:00	Web会議	第64回全国国保地域医療学会 「第2回運営委員会」
	R6	1月12～13日			東京	令和5年度 地域包括医療・ ケア研修会
		1月24日	水	16:00～18:00	Web会議	地域医療研究会 役員会 学術部会
		3月6日	水	16:00～	Web会議	国保連 歯科部会

禁 煙 外 来

担 当 医 師 阿 部 俊 和

担当看護師 小野寺 利佳

令和5年度の禁煙外来受診者は2名でした。男性2名となっております。結果は2名とも禁煙できず途中離脱となりました。いずれもパッチ剤での治療でした。

結果は令和4年度同様、禁煙成功とはならず残念な結果となりましたが、禁煙活動は根気よく継続することが大事であり、今後も禁煙の重要性を改めて周知していただけるようポスター掲示等を利用し啓発活動を行っていければと思っております。

訪 問 診 療

担当看護師 高橋 須磨

令和5年度は昨年度同様、阿部所長、古田副所長、加藤内科長の医師3人と看護師6人合わせて9人体制で訪問診療を行いました。高齢化社会に伴い在宅医療へのニーズが高まる中、病院に通うのが困難になる方や、病気や障害があって通院が困難な患者様のもとに定期的に訪問し、診察を行っています。

令和5年度も昨年同様、週3回訪問診療を行うことができ、訪問申請件数は65名となりました。うち、令和5年度の新規申請人数は昨年度より2名増加の24名でした。通常訪問診療は月に1～2回の対応をしていますが、患者さんの容体の変化に応じ足を運ぶことが何度かあり、訪問延べ回数は94回となりました。また、訪問看護ステーションとの連携のもとに、自宅で看取らせていただいた患者様は13名でした。自宅での看取りは家族の負担もありとても簡単なことではありません。しかし、住み慣れた家で過ごしたい、また自宅で最期を迎えたいという患者様の気持ちと家族の心に寄り添いながら、今後も安心できる医療を提供して行きたいと思えます。

◇令和5年度 訪問診療等集計表

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	R4年度	R3年度
訪 問 診 療	訪問診療申請者数	42	37	38	40	36	40	40	41	40	40	36	37			
	訪 問 実 人 数	35	35	37	34	34	35	33	35	36	37	34	33			
	訪 問 延 人 数	35	35	38	35	35	35	33	35	36	37	34	33	421	428	469
	訪 問 延 回 数	7	7	8	8	8	8	7	7	8	9	8	9	94	90	102
	新規依頼患者数	2	0	2	3	0	4	5	3	3	1	1	2	26	24	30
	自 宅 看 取 り	1	0	1	3	0	2	1	2	0	2	0	1	13	15	8
	施設(入院舎)入所者数	4	1	0	3	2	3	2	3	1	3	1	1	24	21	19
	訪 問 終 了 人 数	5	1	1	4	0	5	2	4	1	5	1	2	31	23	24

患者紹介、逆紹介

担当看護師 石母田 陽子

令和5年度の他病院への紹介患者は前年度より28人増の272人、逆紹介患者は11人増の134人でした。紹介患者は精密検査が必要な患者や入院が必要な重症患者、消化器のポリープ切除術、泌尿器疾患での手術目的の紹介が多くを占めており、紹介先は主に県立胆沢病院、県立中部病院、県立江刺病院でした。また前年度同様、眼科から精査加療目的のため北上済生会病院への紹介が多くみられました。逆紹介では主に近隣や遠方の医療機関から、近医でのフォローアップ目的で紹介して頂きました。救急搬送患者は、昨年より3人減の17人でした。

1. 紹介患者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
県立胆沢病院	12	16	14	4	16	14	16	9	13	15	11	9	149
総合水沢病院	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	1	2	6
県立江刺病院	0	0	1	0	4	1	1	2	2	2	0	0	13
県立中部病院	4	2	3	1	1	3	4	0	2	3	2	3	28
北上済生会病院	2	0	4	2	2	4	4	1	3	1	3	3	29
その他	6	5	3	7	4	4	6	3	2	0	3	4	47
累計	24	23	27	14	27	26	31	16	22	21	20	21	272

2. 逆紹介患者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
県立胆沢病院	5	1	11	3	4	2	3	4	4	5	6	12	60
総合水沢病院	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	4
県立江刺病院	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	3
県立中部病院	1	1	1	0	0	2	1	1	1	1	0	0	9
北上済生会病院	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0	4
その他	3	3	5	3	3	9	6	1	4	4	4	9	54
累計	10	5	17	7	8	14	11	6	11	12	10	23	134

3. 救急搬送数

(単位：人)

県立胆沢病院	16	県立中部病院	1
総合水沢病院	0	まごころ病院	0
県立江刺病院	0	累計	17

訪問看護ステーション

訪問看護係長 千田 瑞穂

令和5年度訪問看護ステーションの職員体制は、昨年度同様に看護師常勤専従3名と常勤兼務6名の体制で行いました。

訪問看護利用状況は、訪問実人数が67名で前年度より3名の増加、訪問延人数は1,941名で前年度より22名の増加でほぼ前年度並みとなりました。内訳は介護保険対象者が1,209名、医療保険対象者が732名で、前年度を上回る利用者拡大とはなりませんでした。新規利用者はそれなりにあったものの入院や施設入所、死亡により短期間の訪問看護利用となるケースが見受けられました。また、昨年同様に状態安定者は通所系のサービス利用が多く、訪問看護は隔週や月に1回の訪問頻度となることがありました。ここ数年胃瘻や尿カテーテルなど医療処置のある利用者が減少し介護報酬の加算算定が難しい状況となっています。

サービス担当者会議や退院時カンファレンスに参加しサービス向上や他職種連携、情報交換に努めました。

その他の業務として、岩手県立大学看護学部学生4名、水沢学苑看護専門学校学生12名の実習を受け入れ対応しました。

地域保健活動

医療係 岩渕 月

地域住民の健康増進を図るため、保健活動を実施しました。

1. 保健活動

事業名	内容	担当者	人数
乳幼児歯科検診	1 歳 6 カ月児歯科健診 96 人 2 歳 6 カ月児歯科健診 70 人 3 歳 6 カ月児歯科健診 107 人	歯科長、歯科衛生士	273 人
骨粗しょう症検診	D E X A法による骨塩量測定	医師、放射線技師	250 人
歯科検診	成人歯科検診 27 人 後期高齢者歯科健診 12 人 妊婦歯科健診 8 人	歯科長、歯科衛生士	47 人
金ヶ崎診療所健康増進運動教室	健康増進及び介護予防のための ストレッチ、筋力トレーニング	講師：（一財）金ヶ崎町生涯スポーツ事業団インストラクター	45 回 1,548 人

看護科

看護師長 小野寺 利佳

1. 看護体制

看護師数 7名 (看護師長 1名 主任看護師 1名 看護師 4名 会計年度任用職員 1名

※12月から1名産休となっている)

2. 看護科基本方針

- 1) 安全で安心な医療と看護を提供します
- 2) 医療事故を防止します
- 3) 住民の健康な生活の実現のため、看護領域の展開を行います
- 4) 健康講演会などで知識、意識の啓発を図ります
- 5) 保健医療福祉関係者との積極的な連携を図り協働して看護を提供します

3. 令和5年度の活動と成果

今年度前半は6名でスタートし、後半は会計年度任用職員を1名採用し7名のスタッフで業務を行いました。今年度も日常の診療に加え、医療関連イベントとして年2回、所内にポスター展示を行いました。また、糖尿病教室については昨年度同様糖尿病教室通信の発行となりました。更に、平日午後の発熱外来と新型コロナウイルスワクチン接種の対応となり限られた人数で事故もなく従事することができました。また、数回開催された日曜日の集団接種にも各自可能な限り協力することができ良かったと思います。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1) 糖尿病教室 | 糖尿病教室通信 6回発行 |
| 2) 医療関連イベント | 「健康」「救急」 |
| 3) 所内勉強会 | 開催時参加 |

診療放射線室

診療放射線技師 佐々木 清光

（１）診療放射線室の業務内容

診療放射線部門は、「人に優しく心に温かい地域医療の提供に努めます」を理念に、

1. 患者様の視点に立って行動します。
2. 常に最善の方法を選択する医療を行います。
3. チーム医療を推進します。

を基本方針として業務を行っています。

主な設備は、一般撮影装置・骨密度測定装置・透視撮影装置・X線CT撮影装置です。

撮影業務は、保険診療に加えて事業所健診・住民検診・介護福祉施設入所者検診等に、積極的に取り組みました。

令和5年度の撮影件数は、前年度と比べて、一般撮影検査2%減、骨密度検査15%増、X線TV検査27%増、X線CT検査6%増となりました。エコー検査の人間ドック（腹部エコー検査）も、前年度並みとなりました。

今後とも、皆様の健康維持の一助になればと思います。

（２）令和5年度の業務統計

項目	一般撮影検査		骨密度検査		X線TV検査		X線CT検査	
	件数	件数/日	件数	件数/日	件数	件数/日	件数	件数/日
4月	108	5.4	80	4.0	5	0.3	32	1.6
5月	108	5.0	86	4.0	8	0.4	34	1.7
6月	157	7.0	110	5.0	7	0.3	45	2.0
7月	121	6.1	153	7.7	9	0.5	33	1.7
8月	274	13.7	49	2.5	13	0.7	56	2.8
9月	238	11.9	134	6.7	9	0.5	52	2.6
10月	125	6.0	62	3.0	13	0.6	47	2.2
11月	142	7.1	156	7.8	13	0.7	41	2.1
12月	203	10.2	114	5.7	12	0.6	33	1.7
1月	97	5.1	34	1.8	11	0.6	39	2.1
2月	92	4.8	54	2.8	9	0.5	36	1.9
3月	99	5.0	116	5.8	8	0.4	31	1.6
累計	1764	7.3	1148	4.8	117	0.5	479	2.0

検 査 室

主任臨床検査技師 亀井 浩

◇検査室基本方針

1. 患者さまへ信頼のおける検査を心がける
2. 精度の向上と質の高い迅速なデータを提供する
3. 専門知識の習得、技術の研鑽に努める

◇業務動向

新型コロナウイルス抗原の検査については、早期診断のため、外注のPCR検査から所内での定性検査を行う事が主となりました。発熱外来においては、令和5年度はインフルエンザが大流行し、試薬メーカーの出荷調整もあり、同時検出可能な抗原キットでの検査と、新型コロナウイルスのみ、インフルエンザウイルスのみの、キットの在庫管理に苦勞しました。しかしながら、発熱患者のウイルス判別、早期発見に寄与できたと思います。一年を通して流行が収まらず対応に苦慮しました。

啓発活動の推進としては、糖尿病教室の一環として検査に関わる内容を印刷したものを患者さまに配布するのみとなりました。

◇検査機器の更新

心電図検査装置 FCP-9800 及び システム PC

◇令和5年度検査実績

検査項目	件数（項目数）
生化学検査	38,321
一般検査	17,362
血液学的検査	14,644
血清学的検査	4,527
生理学的検査	759
委託検査	2,631
合計	78,244

*検査項目は診療報酬点数算定単位

◇令和5年度参加 臨床検査精度管理調査

岩手県医師会

岩手県臨床衛生検査技師会

デタミナーサーベイ

栄研サーベイ

セキスイコントロールサーベイ

ニッターボーメディカルサーベイ

薬 局

薬剤師 小野寺 甲仁

薬剤師の主な業務は以下のとおりです。

1 薬品・診療材料の購入及び管理

見積り、発注、在庫管理によって診療が円滑に実施されるよう心掛けています。

薬品は、在庫管理のため毎月末に棚卸を実施しています。

2 医薬品情報管理（DI）業務

医薬品安全対策情報、製薬会社発行文書を所内で回覧し、最新情報の共有を図っています。

医薬品に関する問い合わせについては、製薬会社のホームページを確認するなどして、迅速かつ適切な回答に努めています。

3 所内勉強会の開催

主に診療所職員を対象に、製薬会社の担当者に講師を依頼して開催しています。

令和5年度は、合計3回開催しました。

4 学校薬剤師業務

令和5年度は町内2小学校、1幼稚園、1給食センターを担当しました。

環境衛生検査、薬物乱用防止教室を実施しました。

5 個別ケア会議

隔月第3火曜日の個別ケア会議にアドバイザーとして出席し助言を行いました。

6 出前講座

自治会等からの依頼を受けて、地域住民に「おくすりの正しい使い方」を説明しました。

令和5年度は、合計7回実施しました。

7 その他

予防接種に係る業務。

各種請求業務。

糖尿病通信の発行。

外来栄養指導

主任栄養士 箱崎 栄里

下記のとおり外来患者の方に栄養指導を行いました。

1 年代、性別人数

(人)

年代	男性	女性	合計
20 歳代以下	0	0	0
30 歳代	0	0	0
40 歳代	1	1	2
50 歳代	1	5	6
60 歳代	0	5	5
70 歳代	3	1	4
80 歳代以上	0	0	0
合計	5	12	17

2 病態別人数（重複あり）

(人)

疾病名	人数
糖 尿 病	6
脂質異常症	11
高尿酸血症	1
高血圧症	4
肝機能障害	2
合計	24

人間ドック・検診部門

看護師長 小野寺 利佳

令和5年度も昨年度同様に人間ドック・事業所検診・受託検診として金ケ崎町役場職員の結核健診、胃内視鏡検査、骨粗鬆症検診、肝炎ウイルス検査、高齢者施設の結核健診を行いました。

事業所検診については前年度と同様、特定健診については15人の減となっていますが前年度が特に多く例年と比べるとほぼ同数となっています。人間ドックについては昨年同様となっております。

健康診断については新型コロナウイルスの2類から5類への引き下げに伴い午後の診察も可能になっていることから、午前中のみならず可能な限り対応していきたいと思います。

今年度受検者数は以下の通りです。

検診内容		受検者数
人間ドック		13 名
事業所健診		796 名
特定健康診査		38 名
金ケ崎町職員検診	結核検診	179 名
	胃内視鏡検査	90 名
	骨粗鬆症検診	4 名
	肝炎ウイルス検査	30 名

早 朝 診 療

担当看護師 新岡 蘭

平成 21 年 7 月から早朝診療を開始しております。令和 5 年度は昨年度と比較して、10 人増加の患者総数 235 人でした。

令和 5 年度の受診内容は、空腹時の血液検査、通勤前の定期受診、外科の処置が中心でした。受診者は金ヶ崎町内に勤務されている方や学生の利用が多く見受けられました。

今後も患者数増加を目標に、引き続き所内掲示の工夫、広報活動を行い、多くの方々に受診されるよう環境づくりに努めていきたいと思ひます。

(単位：人)

年度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
21 年度	0	0	0	26	10	11	9	26	19	6	10	11	128
22 年度	13	11	7	4	15	10	14	12	20	22	15	12	155
23 年度	8	20	20	16	17	29	15	17	14	15	28	20	219
24 年度	20	18	14	21	27	24	19	30	27	28	19	42	289
25 年度	25	22	31	36	20	27	25	25	26	19	19	19	294
26 年度	20	21	13	20	12	15	14	18	40	19	17	15	224
27 年度	22	12	15	15	12	9	19	15	21	22	32	22	216
28 年度	14	17	25	17	13	11	15	16	11	11	15	11	176
29 年度	6	18	17	10	5	8	5	9	10	9	12	13	122
30 年度	13	7	11	11	12	6	19	7	13	21	11	9	140
元年度	23	4	10	10	10	10	7	7	16	7	8	12	124
2 年度	7	14	15	18	7	7	9	10	10	7	11	19	134
3 年度	21	10	11	11	14	15	19	25	35	15	11	23	210
4 年度	26	22	15	17	15	18	26	17	16	14	15	24	225
5 年度	11	14	18	19	26	19	25	21	29	13	20	20	235

土曜診療

担当医師 古田 一裕

平成 23 年 7 月より土曜診療を行っています。診療体制は医師の診察のみを行い、X線検査、臨床検査は行なっていません。また、同年 11 月より住民サービスの一環として予約制でワクチン接種を開始しています。

平成 25 年度も前年同様の体制で開始しましたが、平成 26 年 1 月より医師の勤務体制の変化により偶数週土曜日、午前だけの診療に変更されています。

(単位：人)

	令和					平成							
	5	4	3	2	元	30	29	28	27	26	25	24	23
月平均 受診者数	23	26.6	11.6	14.9	22.5	25.3	18.1	26.5	25.8	34	61	61	61
1 日平均 受診者数	11.5	13.3	16.6	14.8	10.8	12.7	9.08	13.3	13	17	17	15	13

平成 26 年度からは月 2 回の診療のため受診患者数は平成 27 年度まで減少傾向にありましたがその後受診者数は増加傾向になり、平成 29 年度は減少しました。平成 30 年度は一度、増加しましたが令和元年度は減少し令和 2 年度は増加しました。令和 4 年度は令和 3 年度と同様に新型コロナウイルスの流行でインフルエンザワクチン接種が土曜診療で行われました。接種増加が 1 日平均の受診者数増加に寄与したと思われます。令和 5 年度は土曜診療でのワクチン接種者数が例年より大幅に減少しました。このため受診者数も減少したと思われます。

住民サービスとして開始した土曜診療ワクチン接種は令和 5 年度 211 人（令和 4 年度 255 人、令和 3 年度 268 人、令和 2 年度 250 人、令和元年度 142 人、平成 30 年度 154 人、平成 29 年度 81 人、平成 28 年度 155 人、平成 27 度 108 人、平成 26 年度 108 人、平成 25 年度 230 人、平成 24 年度 172 人）に施行されています。

物 理 療 法

担当看護師 グッドマン 愛

令和5年度は、総利用件数が前年度よりも229人減少し、645人にとどまりました。一日平均利用人数は2.7人でした。

令和5年度も、新型コロナワクチン・発熱外来対応等により午後の外来診療を行っていない（応援診療除く）ことがより周知された事や、新型コロナ感染症の不安などが、利用人数減少の要因の一つと考えます。

そのような状況でも、やはり農作業の時期は利用される患者様が多く、肩こり・慢性期腰痛・急性期腰痛に対し低周波やウォーターベッドなどによる治療を行っています。

利用される患者様個々の症状を把握し、症状緩和につながるよう努めていきたいと思っています。

◇令和5年度 物理療法実施表

(単位：件、人数)

実 施 項 目	件 数	1 日 平均人数※
熱気浴	0	0
牽引（腰）	34	0.1
（頸）	44	0.2
ウォーターベッド	230	1.0
低周波	249	1.0
ホットパック	88	0.4
総利用数	645	2.7
前年度	874	4.0

※土日、祝祭日を除く

発 熱 外 来

担当医師 阿部 俊和

令和5年度もコロナ禍は続いておりましたが、同年5月8日に COVID-19 は感染症法上の第5類に引き下げとなりました。しかしながら、その感染力が軽減したわけではなく当診療所においては引き続き以前同様に発熱外来を継続致しました。

発熱外来は一般患者と時間、空間が交わらないように午後に行いました。月曜日から金曜日の午後に、主としてドライブスルー形式で行いました。看護師の待機スペースであるプレパブ小屋は冷暖房施設を設置し、真冬や真夏でも対応できるようにしています。車で来られない患者様に関しては、令和2年度に導入したヘパフィルターを設置した発熱対応室で診察いたしました。

防護服を纏った看護師が綿棒で経鼻的に検体を採取し、その検体は別の看護師が受け取り検査科に運び、COVID-19、インフルエンザ同時測定 of 抗原検査キットを用いて検査を行いました。医師は結果を確認し陰性の患者様は診療所内で診察、処方を行いました。陽性の患者様に対してはプレパブ小屋に誘導し、診察および検査結果を説明し、必要な内服薬を処方致しました。

徐々に感染患者数は減少していますが、いまだ終息はしておらず令和6年度も引き続き発熱外来を継続する予定です。

令和5年度国保金ヶ崎診療所発熱外来患者受入

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
年度	R4	R5	増減	R4	R5	増減	R4	R5	増減	R4	R5	増減	R4	R5	増減	R4	R5	増減
開設日数	16	20	4	19	18	△ 1	22	21	△ 1	20	20	0	21	20	△ 1	20	20	0
受入患者数	54	56	2	89	52	△ 37	37	52	15	179	81	△ 98	308	245	△ 63	116	133	17
コロナPCR検査実施数	47	0	△ 47	71	0	△ 71	27	0	△ 27	105	0	△ 105	50	0	△ 50	24	0	△ 24
コロナ抗原検査実施数	7	30	23	17	51	34	10	54	44	87	67	△ 20	288	229	△ 59	102	125	23
コロナPCR+抗原検査陽性者数	27	8	△ 19	29	22	△ 7	10	17	7	92	39	△ 53	199	171	△ 28	58	80	22
無料検査キット陽性者数		1	1		0	0			0			0	19		△ 19	10		△ 10
1日の平均患者数 (受入患者数／開設日数)	3.4	2.8	△ 0.6	4.7	2.9	△ 1.8	1.7	2.5	0.8	9.0	4.1	△ 4.9	14.7	12.3	△ 2.4	5.8	6.7	0.9

月	10月			11月			12月			1月			2月			3月			合計		
年度	R4	R5	増減	R4	R5	増減	R4	R5	増減	R4	R5	増減	R4	R5	増減	R4	R5	増減	R4	R5	増減
開設日数	20	21	1	20	20	0	20	20	0	19	19	0	19	19	0	22	20	△ 2	238	238	0
受入患者数	159	72	△ 87	314	87	△ 227	289	243	△ 46	157	176	19	146	181	35	86	173	87	1,934	1,551	△ 383
コロナPCR検査実施数	25	0	△ 25	22	0	△ 22	11	0	△ 11	19	0	△ 19	2	0	△ 2	3	0	△ 3	406	0	△ 406
コロナ抗原検査実施数	145	69	△ 76	272	85	△ 187	256	191	△ 65	137	174	37	143	176	33	85	148	63	1,549	1,399	△ 150
コロナPCR+抗原検査陽性者数	94	14	△ 80	199	10	△ 189	193	19	△ 174	83	40	△ 43	25	63	38	3	68	65	1,012	551	△ 461
無料検査キット陽性者数	20		△ 20	42		△ 42	23		△ 23	11		△ 11	2		△ 2	0		0	128	1	
1日の平均患者数 (受入患者数／開設日数)	8.0	3.4	△ 4.5	15.7	4.4	△ 11	14.5	12.2	△ 2	8.3	9.3	1	7.7	9.5	2	3.9	8.7	5	8.1	6.5	△ 1.6

3. 委員会活動

保健福祉センター運営会議

委員長 阿部 俊和

従来、運営会議は診療所、歯科診療所の患者数や収益を職員全員が共有する目的と保健福祉センター事業を職員全体が認識し業務を円滑に運営する目的で行っていましたが、令和3年度のコロナ禍以降毎月月末の朝礼後に20分程度会議を行いました。対象も診療所、歯科診療所、訪問看護ステーションの幹部職員に限定しました。

はじめに医療係より診療所、歯科診療所部門の毎月の収支、患者数の報告がありました。診療科においては内科、歯科、更に婦人科、神経内科、眼科、整形外科、循環器内科、そして新設された呼吸器内科の8つの部門に分け、各々の詳細な収支、患者数、業績の報告がなされました。更に発熱外来の状況報告とその収支の報告もあり、診療所、歯科診療所の幹部職員が毎月の経営状態を確認し共有致しました。月の累積の収支等に関しても報告があり、目標に対する進捗状況も認識してもらいました。早朝診療、土曜診療の患者数に関しても報告がありました。

看護科からは訪問診療の件数や看取りの数等の報告がありました。

レントゲン部門によるレントゲン検査の推移（CT、骨密度測定、透視、単純写真数など）、臨床検査科における検査数（一般検体検査数、心エコー、脈波検査など）、内視鏡検査数の報告もなされ、検査数の推移や多寡について検討致しました。

訪問看護ステーションからは利用状況、訪問回数、看取りの数や収支が報告されました。

従来行っていた各種委員会報告は時間の関係で割愛となりました。

この会議の本来の目的は診療部門、役場保健福祉センターの事務部門が一堂に会して会議を行い、情報を共有する事により連携を深める事です。

コロナ禍が落ち着いたので次年度から以前の形態に戻したいと考えております。

構成員：保健福祉センター幹部職員

管理委員会

委員長 阿部 俊和

管理委員会は保健福祉センターの幹部により構成されており、令和5年度も前年度同様毎週金曜日の朝礼後に10分程度行いました。

委員会では医師3名、歯科医師1名の2週間の出張、訪問等のスケジュール、事務長の週間予定に加え、看護科、訪問看護ステーションの行動予定、薬局・検査・レントゲンの2週間の予定と状況報告、保健福祉センターからは医療係、福祉係、介護保険係、元気100歳健康支援係、新型コロナウイルスワクチン対策室のメンバーが、2週間のイベントや会議等のスケジュール、事業の進捗状況等の説明を行い、その調整も同時に行いました。また、診療所運営上の問題点や課題に関して協議しました。

診療所、保健センターを運営する上において幹部による毎週のスケジュール等のすり合わせは重要であり、今後も継続していきます。

◇委員会構成

委員長	所 長	阿部 俊和		
委 員	副 所 長	古田 一裕	内 科 長	加藤 喜信
	歯 科 長	高橋 通訓	事 務 長	佐藤 康博
	事務長補佐	佐藤 美幸	事務長補佐	小野寺 純也
	元気100歳健康支援係長	高橋 光緒		
	福 祉 係 長	栗津 文恵	診療放射線技師	佐藤 茂志
	主任臨床検査技師	亀 井 浩	診療放射線技師	佐々木 清光
	薬 剤 師	小野寺 甲仁	看 護 師 長	小野寺 利佳
	主任看護師	高橋 須磨	訪 看 係 長	千田 瑞穂

広報委員会

医療係 岩渕 月

広報委員会の活動は主として保健福祉センターだよりの記事案を検討する会で、今年度は、発行日の前月に計6回開催しました。

保健福祉センターだよりは、広く町民に診療所、訪問看護ステーション及び保健福祉センターの業務お知らせするために発行しているものです。おかげ様で今年度第 100 号を迎えることができました。

町民が知りたい最新情報を確実にお伝えすることができるよう、今後とも広報委員会の活動を続けてまいります。

1. 委員会構成

委員長	診療放射線技師	佐藤 茂志			
委員	所 長	阿部 俊和	歯 科 長	高橋 通訓	
	事 務 長	佐藤 康博	事務長補佐	佐藤 美幸	
	主任看護師	高橋 須磨	看 護 師	吉田 聖子	
	看 護 師	木村 優李	保 健 師	佐々木 結衣	
	主 査	多田 麻衣子	主 事	橋本 好美	
	主 事	岩渕 月			

2. 広報委員会 開催日と発行日

回数	号数	広報委員会開催日	発行日
1	96	令和5年 5月 10日(水)	令和5年 6月 22日(木)
2	97	令和5年 7月 12日(水)	令和5年 8月 17日(木)
3	98	令和5年 9月 13日(水)	令和5年 10月 19日(木)
4	99	令和5年 11月 8日(水)	令和5年 12月 21日(木)
5	100	令和6年 1月 10日(水)	令和6年 2月 14日(水)
6	101	令和6年 3月 6日(水)	令和6年 4月 18日(木)

3. 発行部数 1号あたり 約5,500部

4. 発行先 町内全世帯、近隣医療機関・福祉施設

保健福祉センターだより

2023. 4. 20 No.95



金ヶ崎診療所における新年度の体制について

保健福祉センター所長兼金ヶ崎診療所所長 **あべ としかず**
阿部 俊和

令和5年度に当たり一言ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は収束に至りませんでした。ワクチンが日本国民に広く行き渡ったこと、オミクロン株に変異し重症化が減少したことから5月8日以降感染症2類が5類へと引き下げられることになりました。しかし、高齢者や基礎疾患を有する方においては重症化のリスクの可能性はあり、時に生命にかかわる疾患です。そのため令和5年度においてもワクチンの接種が重要となります。国は高齢者や基礎疾患を有する方には年2回の接種を推奨しております。

当診療所ではワクチン接種開始当初から町と協議を重ね積極的にワクチン接種に関わってきました。国の政策は集団接種から個別接種への移行であり、今後更に当診療所での接種が重要となるものと思います。

現在、午後の一般外来は休止しておりワクチン接種と発熱外来、その他眼科、脳神経内科、婦人科の特殊外来、大腸カメラのみを行っておりますが、ワクチン接種業務が軽減されるまで午後の一般外来は原則休止させていただきます。大変ご不便をおかけしますがよろしくお願いします。

午前中は月曜日から金曜日まで、内科、外科、泌尿器科等の一般診療を行います。週1回ではありますが、循環器内科、呼吸器内科、整形外科の診療も継続します。待ち時間短縮のため基本は予約制で、予約外の患者様には多少待っていただくこととなりますがご容赦をお願いします。

学生や通勤されている患者様には午前8時から8時半の早朝診療も行っております。また、レントゲンや血液等の検査はできませんが、第2、第4土曜日の午前中診療を行っております。診察、投薬のみでよい患者様はどうぞご利用ください。

当診療所は胆沢病院の研修協力施設となっており、時に研修医が指導医と共に診療に当たることがあります。また、岩手医科大学、東北医科薬科大学の学生が地域医療実習のため研修に来ます。地域で医師を育てるという気持ちで温かく迎え入れていただければ幸いです。

歯科診療は今まで通り月曜日から金曜日午前午後、予約制で行っておりますのでよろしくお願いします。

今後とも、町民の皆様が健康でいられますようにお手伝い致します。



金ヶ崎診療所・金ヶ崎歯科診療所から ～令和5年度診療体制について～

《診療日・診療時間》※歯科診療所は土曜日休診です。

	月	火	水	木	金	土
午 前	○	○	○	○	○	第2・第4
午 後	○	○	○	○	○	

- ◆午前： 8時45分から12時30分
(受付 7時30分から11時30分)
- ◆午後： 13時45分から17時
(受付 13時30分から16時30分)

※内科・外科では会社員、学生等を対象に土曜日を除き午前8時から早朝診療を行っています。

◎初診の場合

電話等でご予約ください。

※ご予約がない場合、出張等による医師不在で診療できない場合があります。

※診療所は、午後に「発熱外来」「新型コロナウイルスワクチン接種」のため、一般外来の予約は当面午前中となりますが、ご理解をお願いいたします。

◎再診の場合（予約のある方）

ご予約の時間までに診療所又は歯科診療所の窓口にお越しください。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 金ヶ崎診療所診療科（Tel 44-2121） ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

内科、神経内科、循環器内科、泌尿器科、外科、婦人科、肛門外科、眼科、整形外科、呼吸器内科

次の診療科の診療日は以下のとおりです。電話等でご予約のうえお越しください。

呼吸器内科 毎週 月曜日 午前	眼 科 毎週 月曜日 午後
神 経 内 科 毎週 火曜日 午後	循環器内科 毎週 木曜日 午前
整 形 外 科 毎週 木曜日 午後	婦 人 科 月2回木曜日 午前／月2回金曜日 午後

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ 金ヶ崎歯科診療所診療科（Tel 44-2842） ◆ ◆ ◆ ◆ ◆

歯科、小児歯科

※土曜日は休診となっておりますので、ご注意願います。

～ 訪問看護ステーションからのお知らせ ～

「訪問看護」は病気や障害を持った人が住み慣れた地域で、その人らしく療養生活を送れるように看護師が生活の場へ訪問し、医師の指示のもとに看護ケアを提供し安心して生活を送れるよう支援するサービスです。

具体的には、病状の観察・在宅療養のお世話・薬の相談や指導・医師の指示による医療処置介護予防・ご家族等への介護支援や相談などを行います。

なお、訪問看護を利用したい場合は、かかりつけ医・ケアマネジャーまたは、当訪問看護ステーション（金ヶ崎診療所内）にご相談ください。

問合せ：☎ 44-2121（内 401）訪問看護ステーション

発行 金ヶ崎町保健福祉センター

保健福祉センターだより

2023. 6. 15 No.96



金ヶ崎歯科診療所から

～ オーラルフレイルについて ～

文責: 金ヶ崎歯科診療所 歯科長 高橋 通訓

最近よく耳にするフレイルという言葉は、年齢に伴って心身の機能が低下した状態をいいます。したがってオーラルフレイルとは、口に関連した機能が低下しさまざまな症状が現れてくる状態を指します。そうなる前に早めに対処することが肝心です。

オーラルフレイル予防は全身の問題もあり多岐に渡るので、気をつけることをいくつか述べたいと思います。

① ブラッシングが適切に行われず口腔衛生状態が悪い。

これは一丁目一番地、最も大切な事です。自分はしっかり歯磨きしていると答える人でも、実際にしっかり歯垢除去できている人は少ないのが実情です。一度歯科を受診してチェックしてもらいましょう。

② 虫歯や歯周病、奥歯の欠損などがありよく噛めていない。義歯が合っていない。

痛くないから大丈夫！それは間違いです。虫歯や歯周病は症状が出てからでは遅く、定期的な受診をお勧めします。また奥歯で噛めず前歯で噛んでいる人は、やがて前歯もダメになります。必ず奥歯で噛めるように治療しましょう。

③ 食習慣が偏っている。朝食べない、同じものばかり食べる、よく噛まない、好き嫌が多い。

食は健康の基本です。なんでもよく噛んで食べることを心がけてください。

話すことも大切です。この他にも、口の中が乾きやすい、むせやすくなった、滑舌が悪くなったなどもフレイルの兆候かもしれません。



*** 成人歯科検診、75歳歯科検診は是非受診してください ***

受診の際のマスク着用等について【お願い】

診療所での受診や受診患者様への付き添いの場合、引き続きマスクの着用をお願いいたします。

- ・周囲の方に感染を広げないためにマスクを着用しましょう。
- ・ご自身を感染から守るためにマスク着用が効果的です。

また、発熱のある方の受診については、あらかじめお電話等でご相談くださいますようお願いいたします。



金ヶ崎診療所の診療体制について

午後の一般外来の診療は当面の間、新型コロナウイルスワクチン接種対応のため、予約の方のみとしています。ご理解いただきますようお願いいたします。

なお、金ヶ崎歯科診療所については、従来どおり予約制となっております。

ご不明な点は次の問合せ先にご確認願います。

問 金ヶ崎診療所 ☎ 44-2121
歯科診療所 ☎ 44-2842

～発熱外来について～

発熱や風邪症状のある方は午後の診療となっております。予約制のため、受診日の午前中までに電話連絡をお願いします。



問 金ヶ崎診療所 ☎ 44-2121

要介護認定を受けている人・ご家族へ

介護保険負担割合証

介護保険負担限度額認定証

} 有効期限は令和5年7月31日までです。

(1) 介護保険負担割合証

介護保険サービス等を利用する際の負担割合（1割～3割）が記載されています。

■更新方法 自動更新、手続きは不要です。7月下旬に次年度分を発送します。

(2) 介護保険負担限度額認定証

要介護認定を受け、施設サービスを利用している人で、一定の所得の人は、自己負担の上限（限度額）が設けられており、超えた分は介護保険から給付されます。

※給付を受けるには町への申請が必要です。

■更新・新規申請方法

① 更新申請（令和5年6月15日時点で介護保険負担限度額認定証がある人）

7月上旬に更新のお知らせ及び申請書等を送付しますので、必要書類を確認の上、指定期日までに、保健福祉センター介護保険係へ提出してください。

② 新規申請（これから申請しようとしている人）

保健福祉センター介護保険係にお問い合わせください。 問 介護保険係 ☎ 44-4560

更新後の介護保険負担割合証・介護保険負担限度額認定証が届いたら…

必ずサービス提供事業所へ提示してください。

保健福祉センターだより

2023. 8. 17 No.97



～ 熱中症に対する「暑さ指数」の活用について ～

文責：金ヶ崎診療所副所長 古田 一 裕

今年は梅雨明け前からの高温に引き続き、梅雨明け後はさらに気温が高くなり連日酷暑が続いています。このような気候において一番注意すべきは熱中症になります。熱中症になりやすいかは気温と湿度より算出される「暑さ指数（WG T B）※」で予測することが出来ます。

また暑さ指数を知ることによってどのような生活（行動）をするかも確認できます。夜間も熱中症になりやすい状態があることを理解できます。

暑さ指数を知るとは熱中症の発生頻度を低下することが出来ます。

熱中症を生じた場合には症状より重症度が3段階に分けられています。

- ・Ⅰ度 めまい、筋肉痛、筋肉の硬直（こむら返り）、手足のしびれ、気分の不快
- ・Ⅱ度 ごく軽い意識障害、頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感
- ・Ⅲ度 意識障害、痙攣、手足の運動障害、高体温

熱中症を生じたら直ぐに涼しいところに移動して衣服を緩めて身体の冷却を開始。冷却する部位は首の両側、両腋窩（わきの下）、両側の大腿の付け根になります。意識がある場合には冷たい電解質飲料の摂取です。重症度を判断しⅡ度、Ⅲ度の場合は速やかに救急車の手配が必要です。またⅡ度からⅢ度への移行は速いことが知られています。

熱中症も注意していただきたい事柄ですが、新型コロナウイルス感染症がまた増加しつつあります。人混みでのマスク着用など予防を欠かさないことにも注意してください。

※「暑さ指数（WG T B）」の詳細については「気象庁」や「環境省」のホームページを参照願います。

国保金ヶ崎診療所・歯科診療所から診療時間のお知らせ

	月	火	水	木	金	備 考
午 前 【受付】 7 時 30 分 ～11 時 30 分	○	○	○	○	○	第2・第4土曜日は午前に内科診療を行います。 ※歯科診療所は土曜日休診です。
午 後 【受付】 13 時 45 分 ～16 時 30 分	○	○	○	○	○	新型コロナウイルスワクチン接種、発熱外来、訪問診療等に対応するため、 <u>午後の診療は予約がある場合のみ行います。</u>

国保金ヶ崎診療所 Tel44-2121 / 国保金ヶ崎歯科診療所 Tel44-2842

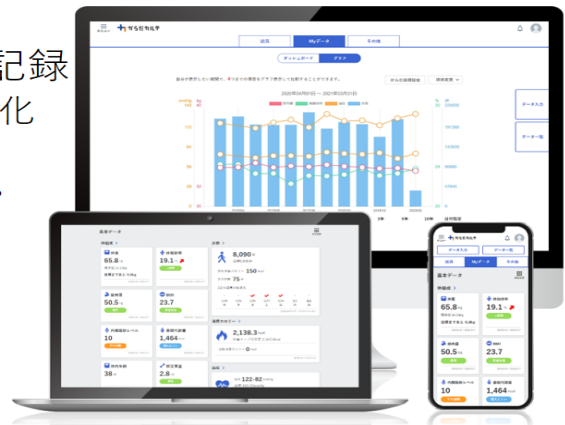


歩いて測って健康に **健幸ポイント**

町民**1,100**人が参加しています

- ・参加費**無料**！
- ・**スマホ**または**タニタ製活動量計**で歩数記録
- ・体組成測定で体脂肪率や筋肉率を見える化
- ・無料アプリで健康を自己管理
もちろん保健師や管理栄養士のアドバイスも受けられます。
- ・歩数や体組成に応じてポイントがたまり、**商品券**が自宅に届く

運動不足の人の平均歩数 1,700歩アップ
参加者の幸福度及び生きがい度アップ



本事業は引き続き申込を受付けています。お気軽にお問い合わせください。

元気100歳健康支援係 44-4560

低所得世帯支援給付金の申請を受け付けています

令和5年度の住民税均等割非課税世帯に**1世帯あたり3万円**を給付します。なお、受給するためには手続きが必要です。

(1) 対象世帯

○令和5年度住民税非課税世帯（※①②いずれの要件も満たす世帯）

①令和5年6月1日において、町の住民基本台帳に登録されている

②世帯全員が令和5年度住民税均等割非課税である

※すでに他市区町村から支給を受けた世帯は対象外です。

※ 租税条約による住民税の免除を届け出ている方がいる場合は対象外です。

(2) 手続き方法

町の課税情報等を基に支給対象の可能性があると判断した世帯に対して6月29日付で「確認書」を送付しています。届いた方は、内容を確認の上、返送してください。なお、返送された確認書の内容について、町から問い合わせをする場合があります。

また、令和5年1月2日以降に転入した方がいる世帯並びに令和5年度住民税の未申告者の方がいるなど、町で上記(1)の要件が確認できなかった世帯には「確認書」を送付していません。要件を満たす場合、添付書類を添えて「申請書」を提出していただくことで受給することができますので、詳しくはお問い合わせください。

・提出期限：令和5年9月30日

・提出方法：返信用封筒による郵送提出又は保健福祉センターへ持参

(3) その他

・DV等避難中の方でも対象になる場合がありますのでお問い合わせください。

・本給付金をかたる「振り込め詐欺」や「個人情報の詐欺」にご注意ください。

問・申請先 福祉係 (Tel44-4560)

発行 金ヶ崎町保健福祉センター

保健福祉センターだより

2023. 10. 19 No.98



～ B 型 肝 炎 について ～

文責:金ヶ崎診療所内科長 加 藤 喜 信

そろそろ住民健診の結果が来ている人もいらっしゃると思いますが、今年の結果はいかがだったでしょうか。今回は、最近テレビなどの宣伝でみられるようになりました、肝機能異常の原因の一つであるB型肝炎についてお話したいと思います。

B型肝炎は、B型肝炎ウイルス（以下 HBV）に感染することで発症する肝炎です。多くの場合、HBV 感染後急性肝炎となるものの、自己の免疫で HBV の増殖を抑え、HBV が減少することで肝機能は正常化していきます。しかし HBV のすべてを排除することはできないため、残った HBV の増殖を自己の免疫が抑え続けて行く必要があります。そのため、著しい体力の低下や抗癌剤、免疫抑制剤の使用などで免疫力が低下すると肝炎が再び増悪することがあります。また、HBV の増殖を抑えられず肝炎が長引き、肝硬変や肝臓癌に進む場合もあります。B型肝炎の治療は、肝機能の増悪があれば抗ウイルス薬やインターフェロンを使いますが、HBV を完全に消滅することができないので、肝機能の正常化を目標とします。肝機能が正常であれば、HBV が陽性でも経過をみることもあります。一度感染すると HBV は消滅できないので一生の付き合いになります。HBV 感染を指摘されたことがある方は定期的な検査をお勧めします。

肝炎は重症化しない限り自覚症状もなく、健診の肝機能異常で見つかることも多いです。異常値のある方は、せつかくの機会ですのでぜひ医療機関受診し、原因の精査をしていただくことをおすすめします。

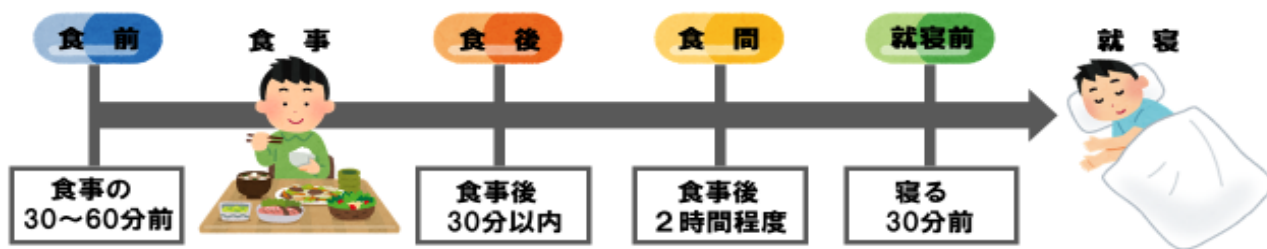
国保金ヶ崎診療所での令和5年度インフルエンザワクチン接種について

令和5年10月1日から、診療所でのインフルエンザワクチン接種を行っています。

接種は、午前の診療受付時間内に随時受付を行います。

なお、土曜日診療（第2・4土曜日の午前）におきましては、予め電話等でご確認のうえお越しください。

くすりは用法を守って飲みましょう



- くすりは飲む時間が決まっています
- 正しく飲むことで安全に薬の効果が得られます
- 飲み忘れても2回分をまとめて飲むのはやめましょう

問合せ先 金ヶ崎診療所 薬局 0197-44-2121

～ 在宅看護によるセルフケアのポイント ～ (新型コロナウイルス・インフルエンザ等感染症の対応について)

発熱・喉の痛み・鼻水・咳・全身のだるさなどが現れますが、ほとんどの方は2～4日で軽くなります。水分と食事を十分にとり、熱や咳、喉の痛みなどの症状に対応することがポイントです。

ポイント1：熱があるときは体を冷やす。・・・首元や脇の下を冷やしましょう。つらい発熱や痛みを和らげる為に市販薬でも対応できます。

ポイント2：水分補給・・・こまめに水分を取りましょう。経口補水液も効果的です。

ポイント3：喉の痛み・・・喉の痛みにはのど飴やうがいがお勧めです。

ポイント4：消化やのどごしの良い食べ物をとる・・・おかゆやスープ、ゼリーなど

ポイント5：加湿する・・・加湿器や洗濯物を干すなどして部屋をうるおしましょう。

療養などの期間は発症日を0日として5日間は外出を控えて頂くことが推奨されています。

また、発症から10日間程度は感染性のウイルスを排出している可能性があることから、不織布マスクを着用するなど、周りの方へうつさないよう配慮をお願いします。

問合せ先 訪問看護ステーション 0197-44-2121

医学生の実習について

当診療所は医学生の実習を受け入れる教育施設となっております。

下記の期間は、医学生が医師の指導のもとに診療に参加させていただくことがあります。

未来の良医育成のため、みなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

★ 令和5年10月10日（火）～11月17日（金）

発行 金ヶ崎町保健福祉センター

保健福祉センターだより

2023. 12. 21 No.99



～ 誤嚥性肺炎について ～

文責:金ヶ崎診療所 所長 阿部 俊和

のどの奥は呼吸をするための気管と飲食物が通る食道に分かれます。飲食物が通過する際には、肺に入らないように気管をふさぎ、飲食物は食道から胃へ下がっていきます。これを嚥下といいます。

飲食物が間違って気管に入ることを誤嚥といい、通常は激しくせき込みこれを押し出そうとします。しかし、加齢などで飲み込みが悪くなると容易に誤嚥するようになり、また咳反射も弱くなり気管に入った異物を排出し難くなります。

口の中には常在菌といって細菌がおります。特に歯磨き等が適切にされていない人の場合この細菌の量が多くなります。誤嚥するとこのような細菌が肺に入り肺炎を起こします。これを誤嚥性肺炎といいます。

高齢者の肺炎の7割以上が誤嚥性肺炎といわれており、命に関わることも多々あります。

症状は発熱、咳、濃い色の痰などです。診断は胸部X線撮影、CT、血液検査などでなされます。

治療は抗菌剤の注射や内服が主体で入院が必要となることも多いです。

歯磨きやうがいなどで口の中をきれいに保つことや口や舌を動かす訓練などが誤嚥予防として有効とされています。歌を歌うことも良いようです。

できる事から始め、誤嚥性肺炎が疑われたらはやめに医療機関を受診しましょう。

☆☆☆ 午後の一般外来予約を再開します ☆☆☆

国保金ヶ崎診療所では、新型コロナウイルスワクチン接種等に対応するため休止していた午後の一般外来予約を、**令和6年1月から再開します。**

- 午後の診療を希望する場合は、予め電話等でご予約ください。(急患の場合はこの限りではありません。)
- 一般外来と並行して発熱外来を継続します。このため、診療の状況によって、予約があってもお待たせする場合がございます。予めご了承ください。

～ 正しい手洗いのしかた～



これからの時期、新型コロナウイルスはもちろん、ノロウイルス、インフルエンザなどの感染症が増えます。手洗いは感染を予防するために最も大切なことと言えますので、みなさんも正しい手洗いの手順を確認してみましょう。

<手洗いのタイミング>

- ・トイレ後
- ・外出から戻った後
- ・食事前、料理をつくる際
- ・多くのひとが触れたと思われる場所を触ったときなどは、積極的に手洗いをしましょう。



障害者控除対象者認定書について

身体障害者手帳をお持ちでない人で介護保険の要介護認定を受けている人のうち、一定の条件に該当する場合は、税の障害者控除（※）を受けるために必要な「障害者控除対象者認定書」を発行します。

※確定申告等の税申告を予定していない人は発行不要です。

■ 対 象 者 ①～③全てを満たす方

- ① 要介護（要支援）認定を受けている。
- ② 税の障害者控除を受ける当該年の12月31日現在で65歳以上である。
- ③ 原則として、申請時点で住民登録地が金ケ崎町である。

※金ケ崎町で認定を受けていても、住民登録地が他市町村の場合は、住民登録地の市町村へご確認ください。

- 申請できる人 対象者本人、親族
- 提出書類 障害者控除対象者認定申請書（保健福祉センター窓口に準備しています。）
- 添付資料 対象者の被保険者証・申請者の身分の分かるもの
- 判定の基準日・方法

判定基準日は令和5年12月31日です。基準日を含む認定審査会で使用した資料に基づいて判定します。内容によっては認定されない場合があります。

- そ の 他 認定書の即日交付はできませんのでご注意ください。

【お問合せ先】保健福祉センター 介護保険係 TEL：0197-44-4560

年 末 年 始 の 休 診 に つ い て

金ケ崎診療所および歯科診療所は**12月29日(金)から1月3日(水)**まで**休診**となります。

1月4日（木）から
通常診療を行います。



発行 金ケ崎町保健福祉センター

保健福祉センターだより

No.100

2024. 2. 14

新年のごあいさつ



保健福祉センター
所長
兼
金ヶ崎診療所
所長
あべ としかず
阿部 俊和



新年あけましておめでとうございます。

今年は辰年になります。甲辰年は勢いがあり物事が成就する年との記載もあり縁起の良い年とされています。コロナ禍も終息に向かい町民皆さんにとっても、金ヶ崎町自体にとっても良い年になることを祈念致します。

さて、今年は私が赴任し17年目を迎える年になります。この広報紙は2か月に1度の発行であります。今回で100回目を迎えることができました。広報紙では町民の皆様に健康にまつわる様々な情報や時節に応じた病気の解説等を掲載してきましたが、少しでも皆様の健康増進に寄与できておりましたら幸いです。

今年も診療所は常勤医師3名（消化器内科、外科、腎泌尿器科）、歯科医師1名の体制で運営してまいります。その他、非常勤勤務ではありますが、循環器、呼吸器、神経内科、婦人科、眼科、整形外科の診療も継続し、なるべく町内で医療が完結できるようこの体制を保っていきたいと思います。

診療所受診が困難となってきた患者様に対しては訪問診療、訪問歯科診療、訪問看護で対応しております。訪問看護と訪問診療を同時に使うことで24時間医師に連絡可能な体制を作っておりますので容体の変化等にも応じることができます。在宅医療を希望する患者様はスタッフに相談してください。

診療所の常勤医師も年々高齢化してきておりますが、医師、歯科医師とも皆心身共に健全であり、まだしばらくフル回転で診療に当たれますので、どうぞよろしくお願いいたします。



金ヶ崎歯科診療所
歯科長
たかはし みちのり
高橋 通訓

新年早々大きな災害が発生しました。水、電気などが止まるわけですが、薬の不足は病気を抱える方々にとっては深刻な問題です。

災害関連死において口腔衛生状態も一因となります。治療より予防。普段からできるだけ薬や医療に頼らない健康づくりも防災のひとつかもしれません。

本年もよろしくお願いいたします。

訪問看護ステーション



住み慣れたご自宅で安心して療養生活を送っていただけますようまごころをこめて、適切な看護を提供できるようスタッフ一同努力して参ります。
今年もよろしくお願い申し上げます。

連絡先
金ヶ崎診療所内
電話 44-2121

日頃は、金ケ崎町保健福祉センターの業務推進にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。保健福祉センターは、金ケ崎診療所、歯科診療所、訪問看護ステーション、医療係、福祉係、介護保険係、地域包括支援センター、元気 100 歳健康支援係、新型コロナワクチン接種対策室で組織され、その業務は多岐にわたり、医療や健康づくり、各種相談支援など、医療・保健・福祉が横の連携を図って取り組んでいます。関係機関のご協力やご支援をいただきながら、職員一同努めておりますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

保健福祉センター事務長 佐藤 康博

医療係

医療係は、主に、診療所の運営に関わる予算の管理、施設設備・医療機器等の保守管理を担当しています。

今後、医療DX（医療のデジタル化推進）の取り組みが益々重要となってくることから、適時導入を進め、より良い診療環境づくりを行います。

◆ 診療所での午後の新型コロナウィルスワクチン接種対応が概ね終了したことから、午後の常勤医による診療を再開しました。

ただし、訪問診療等で不在の場合がありますので、受診の際はお電話でご予約のうえお越しください。

◆ オンライン資格確認（マイナンバーカードの保険証利用）システムを導入しておりますので、ご利用ください。

介護保険係・地域包括支援センター

介護保険制度は保険料を負担し、寝たきりや認知症などで介護が必要になった時に、利用者の選択で、介護サービスを受けることができる社会保険制度です。

全国的に高齢化が急速に進んでおり、高齢者が大幅に増加することが見込まれています。このため、国・都道府県・市町村は一体となって、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援のもとで、可能な限り住みなれた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援や介護サービスを提供しています。

【主な事業】

- ◆ 介護サービス利用や介護認定調査にかかる相談窓口
- ◆ 地域包括支援センターの運営
- ◆ 介護サービス事業所の指定等
- ◆ 認知症高齢者及び家族支援等（オレンジ相談会等）
- ◆ 高齢者虐待防止、地域見守りネットワーク等

元気 100 歳健康支援係

～金ケ崎町に笑顔を、健幸を～

私たちは、すべての町民が笑顔で心身ともに健康で質の高い生活を送れることを目指します。

【主な事業】

- ◆ 人気上昇中
「健幸ポイント事業」
- ◆ 健康づくりの定番
「健診（検診）」
「予防接種事業（高齢者）」
- ◆ 個別に対応します
「健康相談」「栄養相談」
「こころの相談」「家庭訪問」

お気軽に
お問い合わせ
ください！



福祉係

福祉係では各種手帳（身体・療育・精神）の取得や助成に関すること、民生委員・児童委員に関する業務の他、生活保護、養護老人ホームへの入所手続きなど生活に困窮している方々の相談にも職員が対応しています。

【主な事業】

- ◆ 地域福祉
日赤金ケ崎町分区、生活保護 etc.
- ◆ 障害者福祉
障がい福祉サービス、各種障害者手帳 etc.
- ◆ 高齢者福祉
福祉タクシー、さつきホーム、壮健ホーム etc.

発行 金ケ崎町保健福祉センター

〒029-4503 岩手県胆沢郡金ケ崎町西根鍬水 98 番地 TEL0197-44-4560 fax0197-44-4337

環境づくり委員会

委員長 高橋 通訓

令和5年度の作品展示は、下記の日程で行いました。

月	学校名	月	学校名
7月	南方幼稚園	11月	六原幼稚園
8月	六原幼稚園	12月	三ヶ尻幼稚園
9月	三ヶ尻幼稚園	2月	南方幼稚園
10月	南方幼稚園		

児童の作品展示は上記の日程で行われましたが、年明けには生活環境課からの依頼でポスターの作品展示を行いました。コロナのワクチン接種の関係で、七夕の飾りつけは行いませんでした。クリスマスツリーも歯科待合室のみ飾りました。また、令和5年度の冬は積雪が異常に少なく、除雪の回数はわずかでした。

現在花壇等の外回りはシルバー人材センターの方にやっていますが、コロナ以前行っていた職員による草取りや清掃を次年度は行いたいと考えています。

◇委員会構成

委員長	歯科長	高橋 通訓		
委員	所長	阿部 俊和	主任臨床検査技師	亀井 浩
	看護師	石母田 陽子	看護師	新岡 蘭
	看護師	鈴木 麻代子	福祉係長	栗津 文恵
	主任保健師	佐々木 美由紀	保健師	有住 燈子
	社会福祉士	植田 里美	主事	高橋 圭太
	主事	千葉 聖也		

経営改善委員会

委員長 古田 一裕

経営改善委員会は顧客、財務、業務の質、業務効率、学習と成長の視点からそれぞれに評価指標、目標値、実行計画をたてそれを年度末に評価するBSCによる検討を行っています。

平成29年度に電子カルテの導入、医事システムの変更。平成30年度は新診療所での業務となりました。令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため通常診療に大きな支障を生じました。令和5年度はコロナ感染症が5類感染症となりましたが、コロナ感染症の感染力の強さ、高齢者の重症化などの特徴のため発熱外来の対応は継続となりました。午後の診療体制はやや制限のある状態が継続しています。学会、研修は現地参加が可能となりました。コロナ流行前にもまして経営改善の努力をしていく必要があると思われます。

◇委員会構成

委員長	副 所 長	古田 一裕			
委 員	所 長	阿部 俊和	歯 科 長	高橋 道訓	
	事 務 長	佐藤 康博	事務長補佐	佐藤 美幸	
	主任臨床検査技師	亀井 浩	放射線技師	佐々木 清光	
	薬 剤 師	小野寺 甲仁	看 護 師 長	小野寺 利佳	
	主任看護師	高橋 須磨	訪 看 係 長	千田 瑞穂	
	主 事	高橋 圭太			

令和5年度金ヶ崎診療所バランススコアカード【診療部門】

視点	戦略課題（目標）	部門課題（目標）	評価指標、目標値		アクションプラン	実測値	達成率
			評価指標	本年度目標値			
顧客の視点	専門医療の充実	消化器内科、外科、 腎臓内科、泌尿器科、 神経内科における専門性 の高い医療の提供	上部消化管内視鏡検査数	420件	広報活動の充実、既往患者のf/u	404	96.2%
			下部消化管内視鏡検査数	120件	広報活動の充実、既往患者のf/u	106	88.3%
			膀胱鏡検査数	10件	血尿患者への積極的アプローチ	9	90.0%
			前立腺生検	3件	前立腺検診、広報	0	0.0%
			腹部超音波検査件数	80件	スクリーニングとしての定期検査	84	105.00%
	医療、保健、福祉が一体となった 地域活動の展開	出前講座	出前の件数	2件	広報活動の充実、既往患者のf/u	11	550.0%
		糖尿病教室冊子配布	開催回数	6回	通院患者および広報紙での周知	6	100%
		広報紙による疾病啓発	広報紙の定期発行	5回	広報委員会の定期開催	5	100%
	患者満足度の向上	早朝診療の継続	早朝診療患者数	200名	広報紙の活用、出前での宣伝	235	117.5%
		禁煙外来の継続	禁煙外来患者数	5件	広報紙の活用、出前での宣伝	2	40%
		訪問診療の拡充	訪問患者数	65例	通院不能患者への働きかけ	65	100.0%
	地域医療機関との連携強化	診療応援	診療応援回数	週3.5件	手術応援、検査応援、当直の応援	3.5	100.0%
		通院の利便による逆紹介	逆紹介回数	120件	病診連携強化	134	111.70%
財務の視点	患者数の増加	外来患者数の増加	内科外来患者延数	20000人/年	広報活動および医院、施設との連携	21567	107.8%
	単価アップ	内科単価アップ	外来単価	8000	必要な定期検査の実施	7700	96.3%
	検査機器の活用	ABIの活用	検査件数	30件	運営会議での検査件数報告	25	83.3%
		DEXAの活用	検査件数	1000件	運営会議での検査件数報告	1148	114.8%
		UCGの活用	検査件数	40件	運営会議での検査件数報告	33	82.5%
	薬品、資材の差益	差益巾の大きい薬剤使用	使用品目	5件	薬事委員会での検討	6	120.0%
業務の質の 視点	インフォームドコンセントの推進	検査、手術同意書100%	検査、手術同意書 実施率	100%	説明内容書類等の充実	100%	100%
	医療安全対策	侵襲的検査時の薬剤確認	検査中、検査後の出血	0件	問診、薬剤の確認	0	100%
	感染防止対策の促進	感染防止研修会	研修会開催数	1回	院内勉強会での実施	1	100%
業務効率	圏域内病診連携	診療応援など	紹介患者件数	240件	紹介先への診療応援、研修会出席	272	113.30%
学習と成長 の視点	職員の能力向上	各種学会への参加、発表	学会発表数	1回	学会発表のための取組み強化	0	0%
			参加数(医師)	6回	自己研鑽の奨励	14	233%
		論文作成	論文数	1編	論文作成のための取組み強化	1	100%

令和5年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【外科部門】

視点	戦略課題（目標）	評価指標・目標値		本年度実施計画	実施結果（実施値）
		評価指標・目標値	本年度目標値		
顧客の視点	外科外来開始の周知	他院よりの紹介		実数の把握	
	広報紙への投稿	投稿回数	2		2
財務の視点	新しい処置の導入	コレクティオ	2		0
	診療報酬点数の確認				
	医療材料の見直し				
業務の質の視点	外傷処置の見直し	湿潤療法の施行数		可能な症例は全例	
	癌化学療法中患者の診療・管理	外来化学療法			
業務効率の視点	外来診療の効率化			他科との連携	
学習と成長の視点	新しい知見を学習	地域の研究会への出席	できるだけ頻回		
		学会へ出席	4回		5回
	新しい技術の習得				
	肛門科	肛門疾患診察実績（実人数）	135名		150名
		肛門鏡検査	29名		26名

令和5年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【歯科部門】

視点	戦略課題(目標)	評価指標・目標値		本年度実施計画		実行結果(%)
		評価指標・目標値	本年度目標値			
		①医療講演の実施	年1回	住民対象の医療講演,実施	1回 10/25	100%
		②訪問診療の充実	延べ年50人以上	訪問看護ステーションとの連携、広報の活用	36人	72%
		③乳幼児健診人数	年 300人	2歳半健診のフッ素塗布を行う	383人	128%
		④成人歯科検診75歳検診,妊婦、ドック	年 50人以上	成人歯科検診受診者を前年を上回ることを目指す	53人	106%
		⑤研修会等への参加	年間1回以上	国保集会、研究会、勉強会等への出席	6回	600%
		⑥歯科学会への出席	年間1回以上	歯周病学会等、専門学会への出席	0回	0%
業務の質の視点	安全・安心な診療の提供	①ヒヤリハット報告件数	3件	医療事故マニュアルチェックの実施	0件	0%
		②機械室の定期点検実施率	年2回	医療機器の点検およびフィルター等の交換	1回	50%
		③患者ごとのインスツルメント滅菌	各患者ごと	タービン、エンジン周辺器具の治療前後の消毒等	全て滅菌消毒	100%
		④待合室の椅子、ドアノブ等の清掃	毎日適宜	アルコール噴霧、拭き取り	毎日行った	100%
		⑤感染対策講習会の開催	年1回	感染対策関係の講習会出席もしくは独自開催	1回	100%
	効率的業務の推進	①事前連絡のない患者を減らす	1日1人	その都度予約制について理解してもらう	達成できず	0%
		②材料等の簡素化	年3回以上	停滞リストのチェック	2回	65%
財務の視点	収入の確保	①診療報酬改定に関する講習会	年1回以上	国保連講習会等への事務部門参加	現在webで行っている	100%
	材料費の抑制	②材料リストの見直し	適宜実施	発注時同等製品との価格比較	適時行っている	100%

令和5年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【看護部門】

戦略課題(目標)	部門課題(目標)	評価指標・目標値		本年度実施計画	実測値	達成率
		評価指標	本年度目標値			
地域啓蒙活動の推進	・医療関連のイベント開催	開催回数	3回	「看護の日」「救急の日」「世界糖尿病デー」他イベント	2回	67%
	・糖尿病教室	発行回数	6回	・糖尿病教室の実施または通信の発行(各部署)	6回	100%
	・医療講演の実施	開催回数	1回	・出前講座(金中ワークショップ含)	0回	0%
患者満足度の向上	住民の望む看護環境の整備	苦情件数	5件以下/年	・丁寧な対応、説明(苦情:投書、直接)	1件	達成
	・禁煙外来	受診件数	3件/年	・禁煙成功のための積極的アプローチ	2件	67%
収入の確保	コストの漏れ防止	漏れ件数	3件以下/年	・請求漏れ防止のため診察の確認の徹底(ニチイ連携)	0件	100%
	診療材料の在庫管理	定数確認	適宜	・定数化の実施により在庫抑制・確認(外来全般)	実施	100%
安全・安心な看護の提供	・ヒヤリ・ハット提出件数	件数	5件/1人/年	・毎月医療事故マニュアル内容の確認	2件	6%
	・医療機器の定期点検実施率	実施率	100%	・医療機器毎に点検日を決め実施	実施	100%
	・院内感染防止	アウトブレイク	0%	・手洗いの遵守	0%	100%
専門性の高い看護の提供	・看護手順・基準の見直し実施	実施部門数	適宜	・随時既存の手順・基準の見直し	適宜	達成
効率的業務の推進	・他部門との情報交換	開催回数	適宜	・連携をスムーズに行うための話し合い実施	実施	達成
	・年次休暇の消化	消化日数	14日	・職員のリフレッシュ効果による業務の向上	18日(平均)	128%
職員の能力向上	・所内勉強会参加	参加率	80%	・積極的な院内研修への参加	90%	112%
	・インターンシップ受け入れ	依頼月	2人/年	・中学生、高校生	0件	0%

令和5年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【訪問看護ステーション】

視点	戦略課題(目標)	部門課題(目標)	評価指標・目標値		アクションプラン	実施値	達成率
			評価指標	本年度目標値			
顧客の視点	サービス(ケア)の標準化	職員への周知		3回	事業所独自のマニュアル等での周知	3回	100%
	関係機関との連携強化	新規利用者の拡大	新規利用者数	30人	月2人以上の新規利用者の契約	33人	110%
財務の視点	歳入の安定化	利用者の拡大	利用者延数	2,000人	居宅介護支援事業所、病院や診療所医師との連携	1,941人	97%
		医療介護報酬の確認		12回	レセプトダブルチェック(介護報酬医療報酬勉強会)	12回	100%
		訪問看護のアピール	広報紙掲載	2回	広報紙を活用し宣伝	3回	150%
業務の質の視点	安全・安心な看護の提供	医療安全研修会		1回		1回	100%
	適切な訪問看護の提供	医師との連携		5回	医師、看護師合同ミーティング	1回	20%
		課内事例検討会	開催数	12回	月1回事例検討会開催	12回	100%
業務効率の視点	多職種との協働・連携	居宅介護支援事業所との連携	ケース担当者会議への出席	随時	関係機関との連携を図り、利用者の情報を共有する	18回	
		医療機関との連携	退院時カンファレンスへの出席	随時	入院中の情報を得る	3回	
		近隣訪問看護ステーションとの連携	交流会参加	1回	他訪問看護ステーションの情報を得る	0回	0%
	情報共有による業務効率向上	ICTの活用		随時	タブレットの活用により画像情報の共有		
学習視点と成長の	職員の能力の向上	各種勉強会・研修会への参加	参加数	1人3回以上	個人毎の研修計画の作成	3回	100%
		知識や技術、最新情報の取得		3回以上	研修会参加後の情報伝達会	1回	33%

令和5年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【薬局部門】

視点	戦略課題(目標)	評価指標・目標値		本年度実施計画	実施値	達成率
		評価指標・目標値	本年度目標値			
顧客の視点	医療講演の実施	医療講演実施件数	2件以上	出前講座、糖尿病教室、薬物乱用防止教室等の実施	9回	100%
	個別ケア会議での助言	会議での医薬品情報の提供	6回	事業者に対する患者ごとの医薬品情報の提供及び指導	6回	100%
	丁寧な薬品情報提供	質疑応対件数	5件以上	養護教諭・内外医療スタッフからの質疑対応	5件以上	100%
財務の視点	後発医薬品の使用促進	後発医薬品の使用促進	15種以上	先発品から後発品への切り替え検討	15種以上	100%
	薬品の適正管理	月末の在庫確認	毎月実施	毎月末に理論在庫と実在庫の比較及び検証	毎月実施	100%
		廃棄薬品の減少	8万円／年以下	期限切迫品の情報提供 先入れ先出しの徹底	30,867円(税抜)	100%
業務の質の視点	医療安全対策の推進	重大な副作用の情報提供	DSU・・・毎月 その他・・・随時	対象部門へ回覧	実施	100%
	ワクチン接種の効率化	接種予定表による管理	15人分	接種者のワクチン接種スケジュールの管理	15人以上	100%
業務効率の視点	効率的業務の推進	他部門との情報交換	5回以上	連携がスムーズに行えるように話し合う	5回以上	100%
学習と成長の視点	幅広い知識の習得	研修会への参加	5回以上	町・薬剤師会・製薬会社等が実施する研修会に参加する	5回以上	100%
		知識の習得	2項目／月以上	インターネット、薬学雑誌等から習得する	2項目／月以上	100%

令和5年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【X線部門】

視 点	戦略課題（目標）	評価指標・目標値		本年度実施計画	実測値	達成率
		評価指標・目標値	本年度目標値			
顧客の視点	インフォームドコンセントの推進	撮影に関するクレーム件数	0件	検査内容の説明	実施	100%
	接遇の向上	患者対応に関するクレーム件数	0件	入退室時のアナウンス	実施	100%
	収益の確保	放射線室の総撮影件数	3500件	各種撮影機器の件数の増加を目指す	3509件	100%
財務の視点	収入の確保	医事係との情報交換	年2回以上	診療報酬算定等についてのミーティング	年10回程度	100%
	コスト削減	放射線機器の日常点検	毎日	6機器について月別シートにより毎日点検	実施	100%
		医療機器の保守点検	年1回以上	6機器について点検計画書を作成し実施	実施	100%
業務の質の視点	安全・安心な検査の実施	医療事故件数	適宜	患者の転倒、転落、受傷事故防止	0件	100%
			1件/月 以内	インシデント報告件数を月1件以内にする	1件以内	100%
		撮影時		CT造影剤問診表確認	実施	100%
		医師への画像情報の報告	適宜	癌・急性期疾患・特異所見等について随時報告	適宜実施	100%
		放射線被ばく相談	適宜	患者さんが放射線検査に不安があった際に対応	適宜実施	100%
業務効率の視点	効率的業務の推進	他部門との情報交換	年2回以上	連携をスムーズに行うためのミーティング	適宜実施	100%
	院内カルテの効率化	カルテメーカーとの打ち合わせ	年1回以上	院内カルテ及び画像閲覧システムの修正	年10回程度	100%
学習と成長の視点	幅広い知識の習得と能力向上	各種勉強会・研修会への参加	年6回以上	診療所内外勉強会・研修会への積極的参加	15回	100%
		出前講座・院外発表	年1回以上	出前講座・院外発表（放射線技師学術大会等）	3回	100%
	放射線安全管理委員会 職員研修	職員への放射線取扱研修	年1回以上	診療所内での職員研修の実施	1回実施	100%

令和5年度 金ヶ崎診療所バランス・スコアカード【検査部門】

視点	戦略課題(目標)	評価指標・目標値		本年度実施計画	実行結果(実施値)	達成率
		評価指標・目標値	本年度目標値			
顧客の視点	地域啓発活動の推進	出前講座・教室の実施	1回以上	糖尿病教室等	1回	100%
	患者満足度の向上	接遇・技術研修会等参加回数	1回以上	検査内容の事前説明を徹底	0回	0%
財務の視点	材料費の抑制	材料リストの見直し	2回以上	同等製品との価格比較	2回	100%
	試薬・診療材料の適正管理(在庫管理の徹底)	有効期間の確認	月2回以上	在庫管理の徹底	毎月実施	100%
	収入の確保	医事との連携強化	1回以上	診療報酬についての意見交換の実施	4回	400%
業務の質の視点	臨床検査精度管理の充実と向上	精度に関する研修会参加回数	2回以上	研修会の参加	3回	150%
	他施設とのデータ互換性の向上	外部精度管理調査の参加回数	3回以上	医師会等の精度管理調査の参加	6回	200%
業務効率の視点	効率的業務の推進	他部門との連携強化	3回以上	関連部門との意見交換の実施	2回	67%
長学 の視と 点成	技能・能力の向上	所外の研修会・学会の参加回数	6回以上	技術と知識の向上	8回	133%

業務改善委員会

委員長 加藤 喜信

令和5年度は、開催されませんでした。

◇委員会構成

委員長	内科長	加藤 喜信		
委員	所長	阿部 俊和	副 所 長	古田 一裕
	歯科長	高橋 道訓	事 務 長	佐藤 康博
	事務長補佐	佐藤 美幸	主任臨床検査技師	亀井 浩
	放射線技師	佐々木 清光	薬 剤 師	小野寺 甲仁
	看護師長	小野寺 利佳	主任看護師	高橋 須磨
	訪看係長	千田 瑞穂	看 護 師	新岡 蘭
	歯科衛生士	石川 友恵	主 事	高橋 圭太

薬事委員会

薬剤師 小野寺 甲仁

薬事委員会は、医薬品の購入及び管理が適正かつ有効に行なわれるように協議する場として設置され、通常年2回開催しています。

1. 会議内容

(1) 報告事項

- 令和4年度薬品購入実績について
- 令和4年度ワクチン接種状況について
- 令和5年度インフルエンザワクチン接種状況について
- 令和6年度使用期限終了医薬品について

(2) 協議事項

- 令和4年度使用期限終了医薬品等の廃棄について
- 令和5年度同成分含有薬品の採用について
- 令和6年度見積依頼薬品について
- 令和6年度～7年度医薬品納入業者の登録について

2. 委員会構成

委員長	所	長	阿部 俊和		
委員	副 所 長	古田 一裕	内科 長	加藤 喜信	
	歯 科 長	高橋 通訓	看護 師 長	小野寺 利佳	
	事 務 長	佐藤 康博	事務 長 補 佐	佐藤 美幸	
	薬 剤 師	小野寺 甲仁			

医療安全・感染対策委員会

看護師長 小野寺 利佳

1. 委員会の開催

医療安全・感染対策委員会を開催した。

開催日 令和6年2月16日

- 内 容
- ①インシデント及びアクシデント件数について
 - ②国保金ヶ崎診療所医療安全・感染対策委員会設置要綱について（確認）
 - ③国保金ヶ崎診療所の医療安全・感染対策について（確認）

2. 研修等

- (1) 岩手県立胆沢病院が主催する感染防止対策加算1、2算定施設合同カンファレンスに
所長、看護師長、薬剤師、臨床検査技師がWeb参加した。

- ・令和5年10月4日
- ・令和5年12月6日
- ・令和6年2月14日

- (2) 医療安全に係る所内研修を所内勉強会として行った。

- ・令和5年4月6日 BCG ワクチン
- ・令和5年7月7日 シングリックス
- ・令和6年1月19日 ベオーバ

- (3) 感染対策に係る所内研修を所内勉強会として行った。

- ・令和6年1月19日 院内感染対策の取り組み

- (4) 岩手県立胆沢病院が実施する外来感染対策向上加算に係る巡回訪問を受け、外来感染
に係る助言を受けた。

- ・令和6年3月15日

◇委員会構成

委員長	看護師長	小野寺 利佳	副委員長	主任看護師	高橋 須磨
委員	所長	阿部 俊和		副所長	古田 一裕
	内科長	加藤 喜信		歯科長	高橋 通訓
	主任臨床検査技師	亀井 浩		薬剤師	小野寺 甲仁
	放射線技師	佐々木 清光		看護師	伊藤 舞
	歯科衛生士	石川 友恵		訪問係長	千田 瑞穂
	事務長補佐	佐藤 美幸		主 事	岩渕 月

糖尿病教室

看護師長 小野寺 利佳

令和5年度も昨年同様、新型コロナウイルス感染症で感染を避けるため糖尿病教室を行わず7月より関連部署から糖尿病通信をA4版で発行し総合受付で糖尿病患者様、その御家族、興味のある方に配布を行いました。

今後は新型コロナウイルス感染症も5類に移行したこともあり、厚労省の指針に基づきながら患者様と医療側との密接な連携による療養指導の必要性を考え地道ではありますが糖尿病の基本を知っていただくためにも今後も現状にあった方法で継続していきたいと考えております。

回		テーマ	担当
第1回	1号通信	命に関わるフットケア	阿部所長
第2回	2号通信	糖尿病と歯周病	歯科長
第3回	3号通信	実践！血糖を上げない方法	管理栄養士
第4回	4号通信	糖尿病と低血糖	看護師
第5回	5号通信	定期検査でコントロールは良好に！	亀井検査技師
第6回	6号通信	糖尿病とお薬	小野寺薬剤師

所内勉強会

薬剤師 小野寺 甲仁

主に診療所職員を対象として、知識の習得及びスキル向上を目的に勉強会を開催しています。
講師は製薬会社の担当者に依頼し、最新の治療薬等の情報に関する説明をいただいています。

令和5年度は、合計3回開催しました。今後は、医薬品情報に限らず院内感染対策など、幅広い分野をテーマに実施を検討していきます。

令和5年度所内勉強会実績

回	開催日	テーマ	講師
第1回	令和5年4月6日	BCG ワクチン	日本ビーシージー製造株式会社
第2回	令和5年7月7日	シングリックス	グラクソ・スミスクライン株式会社
第3回	令和6年1月19日	院内感染対策 ベオーバ	杏林製薬株式会社

出 前 講 座

医療係 岩渕 月

町民を対象として公衆衛生、医療、健康等の保健医療全般の知識や意識を高めることを目的に、職員が訪問し講演を行いました。診療所関係の講座メニューは6職種 25 演題で、令和5年度の実施状況は、対応回数 11 回、受講者数 177 名でした。

1. 令和5年度出前講座メニュー（診療所関係）

番号	講 座 名	担 当	時 間
1	糖尿病について	内科医師	30 分
2	健康で長生きするために	内科医師	30～60 分
3	インフルエンザについて	内科医師	30 分
4	健康診断について	内科医師	30 分
5	ロコモティブシンドローム（運動器症候群）	内科医師	30 分
6	慢性腎臓病について	泌尿器科医師	30 分
7	前立腺肥大症、前立腺癌について	泌尿器科医師	30 分
8	透析療法について	泌尿器科医師	30 分
9	泌尿性生殖器癌について	泌尿器科医師	30 分
10	尿失禁、過活動膀胱について	泌尿器科医師	30 分
11	肛門疾患（排便時出血）について	外科医師	30 分
12	診療所医師による健康講座	医師	30 分
13	歯周病と全身疾患について	歯科医師	30 分
14	正しい歯の磨き方	歯科医師	30 分
15	歯周病と糖尿病	歯科医師	30 分
16	マウスガード（スポーツ歯学）	歯科医師	30 分
17	口腔ケアと誤嚥性肺炎の予防	歯科医師	30 分
18	お薬の飲み方・使い方	薬剤師	30 分

19	X線写真でわかるさまざまな病気	診療放射線技師	30 分
20	検査の結果をみてみよう !! (糖尿病)	臨床検査技師	30 分
21	応急処置について	看護師	30～60 分
22	尿失禁と骨盤底筋体操について	看護師	30 分
23	インフルエンザの予防方法について	看護師	30 分
24	訪問看護について	看護師	30 分
25	血圧の正しい測定法を学びましょう	看護師	30 分

2. 令和5年度出前講座実績（診療所関係）

	実施日	講 座 名	講 師	受講団体	参加人数
1	R5年6月15日	正しいお薬の飲み方と使い方	小野寺薬剤師	御免老人クラブ	14 名
2	8 月 9 日	「脳卒中」治療と予防のトレンド	阿部所長	瘤木地域見守り ふれあいネットワーク	20 名
3	8 月 28 日	「脳卒中」治療と予防のトレンド	阿部所長	細野自治会	20 名
4	10 月 25 日	知って得するお口の健康	高橋歯科長	瘤木地域見守り ふれあいネットワーク	10 名
5	11 月 13 日	健康で長生きするために	阿部所長	かみしも結いの会	21 名
6	11 月 22 日	正しいお薬の飲み方と使い方	小野寺薬剤師	一の台ゆったりオレンジ カフェ	21 名
7	12 月 1 日	正しいお薬の飲み方と使い方	小野寺薬剤師	金ヶ崎町職員退職者の会	27 名
8	12 月 4 日	正しいお薬の飲み方と使い方	小野寺薬剤師	細野老人クラブ	18 名
9	12 月 20 日	正しいお薬の飲み方と使い方	小野寺薬剤師	上永沢老人クラブ	7 名
10	R6年1月10日	正しいお薬の飲み方と使い方	小野寺薬剤師	横沢老人クラブ	9 名
11	1 月 22 日	正しいお薬の飲み方と使い方	小野寺薬剤師	原・蟹沢ゆいっこハウス	10 名
計					177 名

CT読影会（画像カンファレンス）

診療放射線技師 佐々木 清光

（１）CT読影会の開催概要

月に隔週の木曜日（第２週、第４週）１６時３０分から読影会を行っております。

内容は、当診療所で撮影したCT画像について、遠隔画像診断（鈴木画像診断研究所）の読影結果も踏まえて、主治医が行った診療行為に対してCT画像の読影結果及び採血等の臨床検査結果を照らし合わせ、他の医師も交えての診療行為の検討を行っております。

メディア等でも取り上げられております画像読影の未確認ミスによる病態悪化及び死亡される例が医療過誤として報告されております。読影会は、当診療所でもこのような事例が起きないようにする為に撮影した画像を確認することと、医師及び技師等の知識を向上させる目的で行っております。

今年度も他の職種の方々から賛同頂き、常勤医、臨床検査技師、薬剤師、放射線技師にて行っております。

興味があれば、さらに他の職種の方々にもご参加頂ければ幸いです。

（２）CT読影会の実績統計

	開催日	読影件数		開催日	読影件数
第１回	令和５年４月１３日	１７件	第１２回	令和５年１０月１９日	３４件
第２回	令和５年４月２７日	１０件	第１３回	令和５年１１月２日	１１件
第３回	令和５年５月１８日	２７件	第１４回	令和５年１１月１６日	２４件
第４回	令和５年６月１日	１４件	第１５回	令和５年１２月７日	２４件
第５回	令和５年６月８日	７件	第１６回	令和５年１２月２８日	１８件
第６回	令和５年７月６日	２８件	第１７回	令和６年１月１８日	２１件
第７回	令和５年７月２０日	１３件	第１８回	令和６年２月８日	８件
第８回	令和５年８月３日	１１件	第１９回	令和６年２月２２日	３２件
第９回	令和５年８月１７日	１４件	第２０回	令和６年３月７日	１５件
第１０回	令和５年９月７日	１９件	第２１回	令和６年３月２１日	１４件
第１１回	令和５年９月２１日	３８件			

学童、園児の健康診断

担当医師 古田 一裕

幼稚園の健康診断および医師会よりの依頼で金ケ崎町立第一小学校と西小学校の校医を引き受け健診に従事しています。校医に関しては第一小学校を阿部所長、西小学校を古田が担当しました。幼稚園の健診は阿部所長、加藤医師、古田との3人で担当しています。金ケ崎診療所は小児、学童の健診維持に貢献し、子どもを持つ若い世代が安全で安心して子育てをし、生活ができる環境の維持に貢献しています。県立金ケ崎高等学校が令和4年より加わりました。

◇幼稚園

- 1) 三ヶ尻幼稚園、南方幼稚園 4才児：古田副所長
- 2) 六原幼稚園、南方幼稚園 3才児：加藤内科長
- 3) 南方幼稚園 5才児：阿部所長
- 4) ゆうゆう保育園 春、秋 古田副所長

◇小学校

- 1) 第一小学校 阿部所長
- 2) 西小学校 古田副所長

◇高校

金ケ崎高等学校 加藤内科長

令和 5 年度の診療応援状況

◇阿部俊和

毎週火曜日の午後総合水沢病院への診療応援

随時奥州市立夜間救急

◇古田一裕

毎週火曜日の午前県立千厩病院総合内科外来診療

随時奥州市立夜間救急

◇加藤喜信

毎週水曜日午後県立千厩病院内視鏡検査、内視鏡手術

月 1 回県立胆沢病院消化器内科出張

随時まごころ病院当直

随時奥州市立夜間救急

業 績

【阿部俊和所長】

◇出前講座

- 1) 令和5年 8月 9日 「脳卒中」治療と予防のトレンド
(瘤木地区見守りふれあいネットワーク)
- 2) 令和5年 8月 28日 「脳卒中」治療と予防のトレンド (細野自治会)
- 3) 令和5年 11月 13日 健康で長生きするために (かみしも結いの会)

【高橋通訓歯科長】

◇出前講座

- 1) 令和5年 10月 25日 知って得するお口の健康
(瘤木地区見守りふれあいネットワーク)

【小野寺甲仁薬剤師】

◇出前講座

- 1) 令和5年 6月 15日 正しいお薬の飲み方と使い方 (御免老人クラブ)
- 2) 令和5年 11月 22日 正しいお薬の飲み方と使い方 (一の台ゆったりオレンジカフェ)
- 3) 令和5年 12月 1日 正しいお薬の飲み方と使い方 (金ヶ崎町職員退職者の会)
- 4) 令和5年 12月 4日 正しいお薬の飲み方と使い方 (細野老人クラブ)
- 5) 令和5年 12月 20日 正しいお薬の飲み方と使い方 (上永沢老人クラブ)
- 6) 令和6年 1月 10日 正しいお薬の飲み方と使い方 (横沢老人クラブ)
- 7) 令和6年 1月 22日 正しいお薬の飲み方と使い方 (原・蟹沢ゆいっこハウス)

【佐々木清光診療放射線技師】

◇発表

- 1) 令和5年 9月 2日。岩手県市町村放射線画像研究会秋季集会 (盛岡市立病院)
テーマ:「STAT 画像報告の施設体制」パネリストとして発表
- 2) 令和5年 10月 28日。令和5年度岩手県地域医療研究会 (国保会館)
「画像診断における診療放射線技師から医師への報告体制」発表
- 3) 令和5年 11月 3日。第13回東北放射線医療技術学術大会 (山形テルサ)
「汎用表計算ソフトを用いた線量管理システムの開発と運用実績」発表

出張予防接種

所長 阿部 俊和

当診療所では産業医訪問先企業の健康管理目的、また金ケ崎町にある企業に対するサービス目的で、出張インフルエンザワクチン接種を行っています。令和3年度より新型コロナウイルスに対するワクチンの個別接種、集団接種を優先せざるを得ない状況となり、令和5年度も出張インフルエンザワクチン接種は限定させていただきました。令和5年度は4日間、149名でありました。

原則、医師1名、看護師1名、事務2名の編成で訪問しワクチン接種を行いました。

また、所内において役場職員156名の集団接種も行いました。企業からの依頼で3社149名の接種も行いました。

今後も当診療所業務に支障がでない範囲で出張予防接種事業を継続したいと思います。

出張ワクチン接種

三菱製紙：2日間、82名

関東商事：1日間、24名

ウチダシューズ：1日間、43名

所内での集団接種

役場職員：156名

産業医活動

日本医師会認定産業医 阿部 俊和

金ケ崎町はトヨタ自動車東日本（株）をはじめ、その関連企業や製薬会社、物流倉庫など多くの工場、事業所を抱えております。

産業医活動の目的は、金ケ崎地域の産業振興の一助としての産業医派遣であります。新型コロナウイルス感染症が５類に移行し、それに伴い令和５年度は通常通りの産業医活動を行いました。

業務は例年通り日医認定産業医の資格を有する３人の医師体制で行い、金ケ崎町役場の産業医の他に三菱製紙（株）、アイシン東北（株）と（株）共同物流サービス、（株）グリーンテックの４事業所において産業医活動を行いました。

役場における産業医活動は診療所での健康診断の一部分を引き受ける事、更に衛生委員会に出席し、産業医としてコメントを加える事が主な業務でありました。しかしながら、外来診療の合間に会議出席をせざるを得ない状況であり、衛生委員会への出席率が悪く、次年度より出席する環境を整えていきたいと思っております。

三菱製紙には原則月１回月曜日の午後に訪問しました。活動内容は職員検診後の要指導対象者に対する面談、職場巡視、衛生委員会への出席、不調を訴える職員の診察、残業の多い職員との面談などが主なものでありました。衛生委員会では医療のトピックスの情報供与と新型コロナウイルスなどの感染症の情報提供も行いました。その他令和５年度もインフルエンザの予防接種を会社訪問にて行いました。

アイシン東北、共同物流においても三菱製紙と同様に月１回午後に職場巡視、検診後の要指導者に対する面談、衛生委員会への出席等、産業医として必要な活動を行いました。

グリーンテックにおいては職場巡視する環境ではなく、衛生委員会出席が主な業務でありました。

今後も継続して行い、金ケ崎町の産業振興の一端を担いたいと思っております。

4. 研修・実習受入

臨床研修医受入

事務長補佐兼医療係長 佐藤 美幸

岩手県立胆沢病院臨床研修医(医師免許取得後2年目までの医師)の臨床研修を受け入れる教育施設として、臨床研修医2名を受け入れました。

臨床研修は、国の定めた到達目標に準拠して、指導医のもとでの診療行為を通して実施するもので、医療に携わる若い人材を育成するために行われます。

【G I O】(一般目標)

管理型臨床研修病院である県立胆沢病院における一般目標に準じ、綿密な連携体制のもとに地域医療に関し、特に次の点を重視し研修を実施する。

【S B O s】(行動目標)

- 1 専門分野にとらわれない総合的な診療を行う能力・技術の習得
- 2 患者及び家族とのコミュニケーションを重視した、精神的な面を含めて幅広い人間性の習得
- 3 地域住民と接する機会を通じての、社会性・公共性の認識の習得
- 4 プライマリ・ケア実践のための対応能力の習得

1 臨床研修医及び研修期間

- (1) 菊池美玖 先生 令和5年7月31日～令和5年8月27日
- (2) 高橋将大 先生 令和5年12月18日～令和6年1月21日

2 研修医感想

地域医療研修を終えて

岩手県立胆沢病院 2年次研修医 菊池 美玖

4週間の地域医療研修、大変お世話になりました。研修が始まるまでは、正直なところ、「地域医療」の具体的なイメージがあまりわからず未知の領域でした。

実際に研修が始まってみると、想像していた以上に患者さんのバリエーションに富んでおり、1か月ごとの定期通院の患者さん、生まれたての赤ちゃんのワクチン接種、人間ドックや健康診断、超過勤務で面談が必要な労働者、怪我をし縫合処置が必要な患者さん等、実に様々でした。訪問診療にも同行させていただき、高齢化や核家族化、過疎地域の医療資源不足の実態を知りました。地域に生活するあらゆる世代の人々の健康と生活を支えること、医療へのアクセスが難しい患者さんに対して「医療」の枠組みを超えて地域全体でサポートをしていくこと等、地域医療が担う役割は多岐にわたるということを今回の研修を通してよく学ぶことができました。

初期研修終了後、来年度から産婦人科の道に進みたいと考えています。今後働いていく中で、主に周産期や婦人科腫瘍、不妊を軸とした診療を行うことが多いと思いますが、他にも HPV ワクチンや子宮がん検診の普及、性教育、ピルの正しい理解、女性の働き方など、公衆衛生的な面にも関わっていきたいと考えています。金ケ崎診療所での経験を活かし、地域に貢献できる医師を目指して、今後さらに精進して参りたいと思います。

大変楽しく、学びのある研修でした。ご指導いただいた先生方をはじめ、コ・メディカルの皆さま、事務方の皆さまに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



初めての地域医療を終えて

岩手県立胆沢病院 2年次研修医 高橋 将大

外の病院に研修に行く際には、事前に電話で挨拶するのが決まりだ。電話で阿部所長に挨拶すると、開口1番に、「今度忘年会あるのだけど、参加できる？若い先生には出し物もして欲しくて。女装とかで良いのだけれど！」

地域医療先間違えたかなと後悔しつつも、僕の地域医療が始まった。

金ケ崎診療所はとても綺麗な建物だった。一息つく間もなく、すぐ金ケ崎町長へ御挨拶。地域医療に来たのに町長挨拶なんて恐れ多いと思いながら、町役場へ。高橋町長はとても気さくな方で、まさかの山形大学工学部の大先輩だとわかり、縁を感じた。そんなこんなで始まった地域医療研修だが、県立病院しか経験のない僕にとってとても良い経験ができたと思う。

金ケ崎診療所の周辺は活気があるものの、少し車で移動するだけで、鬱蒼とし森と田んぼだけの原風景が広がっていた。指導医の先生について往診に行くと、老老介護で通院も難しい状態の現実がそこにはあり、正直ショックを受けた。金ケ崎診療所が言葉通りに“最後の砦”になっているのだと強く感じた。地域に根ざした医療が、医師、看護師、コ・メディカル、事務、行政が連携して成り立っている現状を知り、医者が地域で働く重要性を直に感じた。このことは今後の医師として過ごす人生に影響は少なからずあった（あるのではないか）と思っている。

固い話はここまでにして、診療所の先生の話 最後にしようと思う。金ケ崎の先生は、専門もバラバラで、個性に溢れていてとても面白い。医局での朝は加藤先生の淹れたコーヒーの時間が絶品だ。美味しすぎて、温度調節できるケトルを僕も買ってしまいうくらいだった。自宅でコーヒーを淹れるもなかなかその領域に達しないのが目下の悩みである。阿部所長や加藤先生にはお昼ご飯に金ケ崎町の美味しいご飯屋さんを沢山紹介していただき、お腹の肉付きも良くなってしまった。高橋先生、古田先生にはボルダリングやスキーまでお世話になった。振り返ると、先生の優しさに“まみれた”研修だった。

今後は泌尿器科医として精進します。

また何処かで御一緒させて頂けたら（飲み会等）と思います。どうもありがとうございました。

P.S.)忘年会はとても楽しく、心配は杞憂だった。胆沢の後輩にも是非とも勧めたい位だ。



地域医療実習受入

事務長補佐兼医療係長 佐藤 美幸

1 東北医科薬科大学医学部の地域包括医療実習受入機関として、6年次2名の学生を実習生として受け入れました。

(1) 実習生氏名及び実習期間

①岩佐圭祐 令和5年5月15日～令和5年5月19日

②高橋日和 令和5年6月5日～令和5年6月9日

(2) 実習生感想

地域に寄り添う診療所

東北医科薬科大学医学部 第6学年 岩佐 圭祐

一週間と短い期間でしたがありがとうございました。

診療所では普段大学病院で経験できないような地域住民と寄り添った医療を間近で見ることができました。

外来では慢性疾患から、外傷による急性疾患まで幅広く診療を行っており、地域の患者さんが通うかかりつけの診療所として医療を担っていました。受診される患者さんの笑顔を見て、地元の病院で診てもらえるという安心感が伝わりました。他にも地域の学校医、産業医の活動を通して地域に貢献しているのが伝わりました。医療従事者及び職員の方たちは少人数ですが、とても明るい雰囲気、異職種間での連携が取れていました。外部からきた私も楽しく実習を受けることができました。

一週間の実習を通して、金ヶ崎診療所のようなかかりつけ医として地域の住民から愛されるような診療所が全国に広がってほしいと感じました。



地域医療実習を終えて

東北医科薬科大学医学部 第6学年 高橋 日和

今回は地域医療実習として、金ヶ崎診療所で主に外来見学・訪問診療を中心とした実習をさせていただきました。普段は急性期病院の中での医療しか見たことがなかったので、入院した患者さんを無事退院させることが医師の役割だと思っていたのですが、今回外来や訪問診療で先生方が患者さんに接している様子を見て、その前段階もしくは退院後の患者さんの生活に寄り添い、サポートすることも医師の大切な仕事のひとつなのだと実感しました。高齢者が増えている現代では金ヶ崎診療所のような地域に密着した医療がより求められていくのだと思います。金ヶ崎診療所の方々は心優しい方ばかりで、先生方以外にも様々な職種の方が気さくに話しかけてくださったので毎日本当に楽しく実習できました。1週間という短い時間でしたが、金ヶ崎診療所で実習できたことは私にとって大きな財産になりました。今後も地域に貢献できる医師を目指して邁進して参ります。温かいご指導を本当にありがとうございました。



2 岩手医科大学の地域医療臨床実習受入機関として、5年次5名の学生を実習生として受け入れました。

(1) 実習生指名及び実習期間

- ①村瀬花野 令和5年10月10日～10月13日
- ②湊脇啓頌 令和5年10月16日～10月20日
- ③小林勇太 令和5年10月23日～10月27日
- ④柏木一孝 令和5年10月30日～11月2日
- ⑤片貝ちはや 令和5年11月13日～11月17日

(2) 実習生感想

金ヶ崎診療所での実習を終えて

岩手医科大学医学部5年 村瀬 花野

金ヶ崎診療所では、普段大学病院で診る診療とは異なるものを見ることができました。高齢化が進む中で、可能な限り自宅で過ごせるよう、地域全体でフォローしていく様子を学ぶことができました。また病気に罹っていた方が元気になるためには、治療だけではなく、自宅で過ごす時間も必要なのだと感じました。

4日間と短い時間でしたが、将来自分がどのような医師として患者さんに向き合いたいのか、ということ进行深入考えることのできる実習でした。

金ヶ崎診療所は非常に素敵な雰囲気だったため、次は一人の医師として働きたいと感じております。4日間、大変お世話になりました。



金ケ崎診療所での研修を終えて

岩手医科大学医学部5年 瀧脇 啓頌

金ケ崎は医薬品や車の工場が多く立ち並び、また農業をするための豊かな土地も多く多彩な町でありました。診療所に通われる患者さんは地域柄、農業や工業に携わる人が多く、元気な高齢者が多いと思いました。元気というのは、もちろん足腰の丈夫さだけでなく笑顔の方が多いということで診察後も明るく挨拶をされて帰られる方が多く、見ていて気分の良いものでした。訪問診療・訪問看護は近隣の病院への移動に難航しそうな山奥に住んでいる方やADLが低く通院が困難な方にとってなくてはならないものだと感じました。外来、訪問診療、訪問看護や医療機器の見学、実技を通して医大の実習では得られない地域医療の実態を学ばせていただきました。最後になりますが、拙い実習生に時間を捧げて下さった金ケ崎診療所の皆様に心から感謝を申し上げます。5日間の実習、そして飲み会という憩いの場を設けていただきありがとうございました。



金ケ崎診療所での実習を終えて

岩手医科大学 医学部5年 小林 勇太

金ケ崎診療所での1週間では、地域医療実習の本当の意義を学ぶことができましたと思います。つい医学の勉強・実習となると、疾患を探し治療について考えてしまいます。ですが、医療はただ単に医学的介入だけでなく保険や福祉を用いて総合的に提供されているものであり、更には患者さんの背景も考慮して行われる、言わば人を診るものということを実感しました。

診療所では、先生方をはじめ看護師の方々などの皆さんに、一学生としてだけでなく、1人の人間として私を見て、接していただいた1週間であり、地域医療に携わる際の姿勢や振る舞いを肌で感じることでできた貴重な1週間でした。この経験を忘れず、人に寄り添うことができる医師となれるよう励みたいと思います。本当にお世話になりました、ありがとうございました。



金ケ崎診療所での実習を終えて

岩手医科大学 医学部第5学年 柏木 一孝

この度、1週間という短い間でしたが金ケ崎診療所にて地域医療実習をさせていただきました。実習では外来見学や訪問診療、ワクチン接種対応などの見学や、臨床検査・診療放射線についての講義など多くの貴重な機会をいただきました。期間中、特に印象的だったのは金ケ崎診療所での診療に関わる方々の心理的な距離の近さです。これによるチームワークが最適な形で地域医療を実現しており、将来的に我々に求められる地域医療とはいかなるものであるのかということを学ぶことが出来ました。ここで得たものを無駄にすることが無いよう学習を継続したいと思います。

最後になりますが、実習を快く受け入れてくださった阿部所長をはじめとするスタッフの皆様、保健福祉センターの皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



地域医療実習の感想

岩手医科大学 医学部第5学年 片貝 ちはや

この度は一週間という短い間ではありましたが、金ヶ崎診療所で地域医療実習をさせていただきました。

今回の実習では普段の大学病院等ではできないような経験を多くさせていただきました。まず外来で見る患者さんの層や治療の方針も今まで見てきたものとは大きく異なっており、先生方の専門外の病気に関する知識の深さや患者さんとの向き合い方に非常に感銘を受けました。他にも、訪問診療や訪問看護など診療所ならではの取り組みにも参加することができたことが非常に良い経験になりました。

今回の経験を今後医師になっていく上で役立てていきたいと思います。改めて今回お世話になった先生方やスタッフの方々、町民の方々に深くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。

